

「東京真田町の会」会報

日本タボス

平成 **28** 年 **12** 月 **24** 日



花の百名山 根子岳

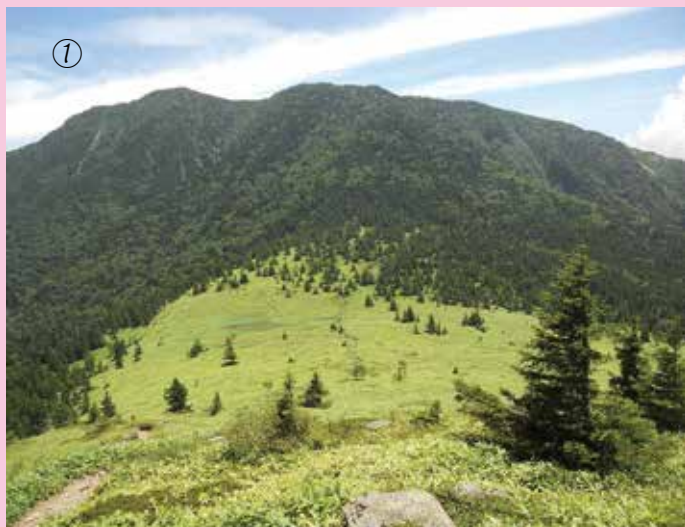
… 四阿山より根子岳をのぞむ…

写真提供：編集子・撮影 2016 年 8 月 10 日

NO.

29

ふるさと・思い出の山々



①



②



③



第 29 回総会・懇親会の点描

(左) 作品を披露される佐藤様(上田市とゆきむら夢工房へ寄贈)、(右) 熱唱された歌手浅倉みよ子様

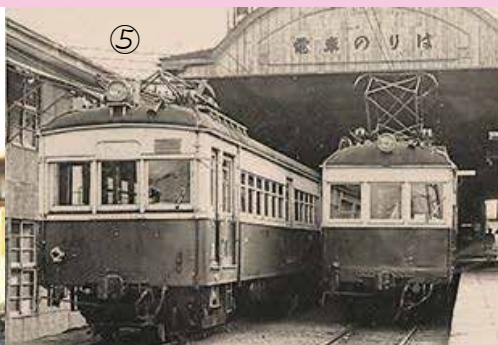
- ① 根子岳より四阿山を望む：笹に覆われた鞍部を過ぎた辺りから、次への挑戦が始まって・・・。
 ② 四阿山頂の山家神社奥宮(二つあるうちの一つ)
 ③ 四阿山頂から中四阿山の彼方に菅平スキー場を望む(撮影：編集予 2016 年 8 月 10 日)



親睦旅行 2 日目の点描：(左) 上田城跡公園平和の鐘の前で、(右) サントミュージゼで原田泰治展入口



④



⑤



⑥

- ④ 駅舎 1972 年<上田丸子電鉄―真田傍陽線より>。⑤ いまにも走り出しそうな気配…<地方私鉄 1960 年代の回想より>。⑥ 停車…、枕木縁製の停車場は電車三輦分ぐらいの長さがありそうで、かなり長い…<上田市役所―上田別所線の歴史より>、二の丸橋梁アーチには今も碇子が残っていて、梁壁の礎にも「設計者上田市技手須藤善五郎…、上田市田子鑄工所」の銘がありました。(親睦旅行 2016 年 11 月 6 日、道すがらの見聞…)

…むかし～むかし～そのむかし～ちいさいがたのかんがわに～
 おんでてつきょうあったとさ～あったとさ～(1)、本号から懐かしの風景を辿ります。



もくじ

一	表紙(花の百名山根子岳)	編集部	一
二	「ふるさと・・・思い出の山々」、諸行事点描、思い出の駅舎	編集部	二
三	もくじ	編集部	三
四	ごあいさつ	編集部	四
五	これからの十年に向けて	山口 元彦	四
六	上田市の活力源として	上田市長 母袋 創一	四
七	真田地域のさらなる発展を目指して	上田市議会議員 土屋 陽一	五
八	真田地域の魅力的な故郷をめざして	上田市議会議員 センター長 岩倉 範明	六
九	真田の里から2016	上田市議会議員 古市 順子	六
一〇	合併から十年を迎える故郷より	上田市議会議員 三井 和哉	七
一一	「真田丸」その後	上田市議会議員 佐藤 論征	七
一二	「発展する故郷のこの頃」	上田市議会議員 金沢 広美	八
一三	「地域とともに歩む農業・地域づくり」	上田市議会議員 鳴澤 宏紀	九
一四	「東京真田町の会総会にお招きいただき」	信州うえだ農業協同組合 代表理事組合長 坂下 隆行	一〇
一五	「運賃低減バス」をご存知ですか?	信州上田農業協同組合 真田地区事業部長 長嶋 巖	一〇
一六	理事就任にあたって	会長 山口 元彦	一一
一七	真田への思い出と東京真田町の会へのお誘い	理事(横尾出身) 神田 幸雄	一二
一八	第二十九回総会・懇親会のご報告	理事(真田出身) 坂口 典和	一三
一九	各部の活動報告	事務局長(横尾出身) 鈴木 邦子	一四
二〇	「真田郷の泰平」その二	各担当理事 柳沢 郁政	一七
二一	真田丸と英国のEU離脱	戸沢出身 鳴沢 隆	一八
二二	真田町のおもいで	萩出身 中島 正江	一九
二三	長年の本金刺繍を六文銭に託して	顧問(戸沢出身) 萩出身 佐藤 昌江	二〇
二四	上田市の学園都市構想	理事(田中出身) 深町 共榮	二二
二五	「チビおかみの挨拶になごみました」	理事(中組出身) 武捨 衛人	二三
二六	会員の皆様の近況報告抜粋	編集部	二四
二七	誇れる上田市そして真田町	事務局長(横尾出身) 鈴木 邦子	二七
二八	上田が生み世界が見過した人工癌研究の先駆者	事務局・編集部	二八
二九	平成二七年度決算報告書	事務局・編集部	二九
三〇	平成二八年度事業計画・収支予算・役員名簿	事務局・編集部	二九
三一	お知らせなど・編集後記	編集部	三〇
三二	広告(ロゴスキー・JA信州ほか)	編集部	三一
三三	広告(株) 真田不動産	編集部	三二

いあいせり

会長 山口 元彦

(横沢 出身)



こんにちは。皆さまお変わりなくお過ごしのことと拝察申し上げます。日頃は会の運営につき、たいそうお世話になり、また、上田市の皆さまには温かいご支援を賜っておりますことを、心より感謝申し上げます。

今年は、大河ドラマ「真田丸」の一年でした(とは言え、これを書いているのは十月中旬で、幸村公の大阪城入城直前の段階ですが・・・)。家族と真田の郷に対する真田一族の熱い思いが伝わってくるのと同時に、登場人物がいずれも個性豊かで面白く、皆さまもワクワクしながらご覧になったことと思います。他にも、真田氏を紹介する番組が次々と放映され、真田氏本城跡(城山)からの眺望や市内の由緒ある場所などの映像も多

く、懐かしく見る事ができました。そして、上田の名所や真田の郷をたくさんの方たちが訪れてくれましたし、関連する催しには「真田丸」に出演の俳優さん、女優さんたちが出席して盛り上げてくださいました。この成果を今後の発展につなげていきたいものです。

十一月に行われた当会のふるさと訪問旅行も、真田氏が支配した群馬県の吾妻川沿いに、岩櫃城などを見学し鳥居峠を経て真田町に入るルートをたどり、幸隆公をはじめ真田一族の活躍の跡を偲びました。そして、「大河ドラマ館」、市立美術館(原田泰治展)、「真田氏歴史館」を参観し、リンゴ狩りなどを楽しみました。

また、今年は、四市町村が合併し新しい上田市が誕生してから十年になりました。この間、様々な取組が行われ、医療センター・市立産婦人科病院・初期救急センターなど医療体制の拡充、学校の建て替えや図書館の建設など教育環境の整備、新しい文化交流施設の建設、地域の足を守るため運賃低減バスの試行(別稿ご参照)など、合併による広域性を活かした事業が、首都圏に住む私たちの目にも鮮やかに写っております。そして、現在、各地域の住民が主体となつて安心して暮らせるまちづくりを目指し、各「地域協議会」や「ま

ちづくり準備会」が動き出ししており、これからの発展が楽しみです。

ところで、昨年の本誌でもお知らせしましたとおり、本年度から会費を年千五百円に増額させていただきますが、九月末現在、切換に伴う混乱もなく、皆さまが所定の金額をお振り込みくださっておりますことをご報告申し上げます。ご厚志に背かないよう有効に使わせていただきます。

当会も来年は三十周年を迎えます。会員の高齢化と減少が進んでおりますが、初期からご加入くださっている会員の皆様の、ふるさとに対する思いを大切にするとともに、後輩にあたる若い方々にも新たに加入していただけるよう、努力してまいりますので、どうかご支援ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

これからの

十年に向けて

上田市長 母袋 創一

東京真田町の会の皆様には、お元気でご活躍のことと存じます。日頃、ふるさとお寄せいただいております御支援や御協力に対して、心より感謝申し上げます。



今年は、新生上田市が発足して十周年という記念すべき節目を迎えました。この十年間、「合併してよかった」と実感していただけたことを第一に、各地域が誇る歴史、文化、伝統やまちづくりを継承しながら、各種政策課題に挑み、成果を上げることができたものと思っております。サントミューゼの建設をはじめ、各地域の小中学校や図書館の整備など、基盤整備となる新市の足場固めを計画的に進めてまいりました。本年からは、「ひと笑顔あふれ 輝く未来につ

ながる健康都市」の実現を目指すために策定された「第二次上田市総合計画」がスタートしております。この計画を着実に実行し、次なる十年に向け、今後も更なる発展を目指し、市民の皆様と一丸となり協働によるまちづくりを進めてまいります。

さて、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送により、大変多くの観光客が上田市に訪れていただい

おります。「信州上田真田丸大河ドラマ館」では、当初の年間目標であった入館者五十万人を、半年余りで達成し、八十万人を超える来場者が訪れており、その他の真田氏関連施設にも数倍もの観光客が押し寄せております。これもひとえに、貴会をはじめとした多くの真田ファンのおかげであるとともに、市民の皆様が「おもてなしの心」を持つてお迎えいただいている成果であると実感しております。

また、今年は、昭和五十一年にスイス・ダボス町と旧真田町が姉妹都市提携を結び、四十周年の節目の年となりました。十月にはダボス町長や駐日スイス大使を迎え、記念式典を開催し、両都市の絆をさらに深めたところであります。こうした海外の関係都市との良好な関係を発展させることは、二〇一九年のラグビーワールドカップ、二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地の誘致に向け、重要な取組であるとともに、菅平高原の魅力を世界に発信する大きなチャンスと捉えております。今後もキャンプ地誘致に向けたプロモーション活動を積極的に推進してまいります。

新市の誕生から十年のときを刻み、今後の十年も力強く前進してまいりますので、皆様には故郷上

田市を温かく見守っていただき、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会の皆様の御健勝と御多幸をご祈念申し上げ、会報「日本ダボス」に寄せるあいさついたします。

上田市の

活力源として

上田市議会議長 土屋 陽一



五月二十二日に、上田市議会議長として九年ぶりに東京真田町の会にお招きいただきました。その際には、以前にもましてご歓待いただきましたことに対し、厚く御礼申し上げます。また、この「日本ダボス」は今度で第二十九号の発行ということで、会員の皆様の故郷への深い愛情を感じ、大変うれしく思います。

今年の上田市は、NHK大河ド

ラマ「真田丸」の放送により、期待していた以上に大勢の方々に訪れていただいています。その指標のひとつに、旧上田市民会館の建物を活用して設置した「信州上田真田丸大河ドラマ館」の入館者数があります。年間目標を五十万人に設定していたところ、七月末にはこれを達成し、十月初めには七十万人を突破しています。同時に、真田家発祥の地である真田地域も賑わっており、「真田氏歴史館」も既に昨年の四倍の十万人の入館者がありました。市議会といえども、真田・上田の認知度は飛躍的に高まっていると確信していることから、真田・上田ブランドが人をひきつけ、それが今後の上田市の活力の源へと繋がっていくように考えていきたいと思っています。

また、今年の夏はリオデジャネイロオリンピックで世界を相手に競う日本選手の活躍が、大きな興奮と感動を呼びました。四年後の東京オリンピック開催に向けて、これから国際的なスポーツ大会に対する国民の関心がますます高まり、アスリートの動向にも注目が集まると思います。このような中で、上田市には菅平高原があります。ラグビーのみならず、陸上競技などのトップアスリートのトレーニング地として実績のあること

から、上田市は二〇一九年ラグビーワールドカップ及び二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致に動いています。これが実現すれば、日本の菅平から世界の菅平となり、これも上田市の活力源となる可能性を秘めています。今年は、旧真田町がスイスダボス町と姉妹都市提携を結んでから四十周年の節目となりますが、世界に開いた窓がさらに大きく発展するよう願っています。このように、真田丸で日本全国に、菅平高原で世界に上田市をプロモーションする千載一遇の好機が巡ってきています。このほかサントミューゼを中心に始動している文化の薫る創造都市、今後の長野大学公立大学法人化などの学園都市構想も上田市の活力源として期待できます。

東京真田町の会の皆様におかれましては、時折上田市を訪れて直にその姿をご覧いただきながら、今後とも末永く上田市を見守ってください。さるよう、お願いいたします。末筆ながら、東京真田町の会が益々発展されますことを心からご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



あわ

真田地域のさらなる

発展を目指して

真田地域自治センター長

岩倉 範明



今年四月に真田地域自治センター長を拝命し、五月の東京真田町の会総会に初めて参加させていただきましたが、皆様に温かくお迎えいただき、心より感謝申し上げます。

また、その節は、佐藤昌江様による大変貴重な「日本刺繍」の額装を、会の総意として上田市に御寄附賜り、重ねて感謝と御礼を申し上げます。御寄附いただきました額装は観光案内所の「ゆきむら夢工房」に展示し、地域の皆様をはじめ多くの観光客の皆様に御覧いただき、大変喜ばれております。本当にありがとうございます。

現在、上田市は大河ドラマ「真田丸」の放送により、大勢のお客様が訪れています。

大河ドラマ館の入館者は、新たな目標とした七十万人を十月一日に超え、今なお多くの方が入館されています。真田氏発祥の郷である真田地域にも大勢の皆様を訪れていただき、真田氏歴史館の入館者は、九月末現在、昨年同比三倍の約九万六千人となっております。その他お屋敷公園、真田氏本城跡なども連日大変なにぎわいとなっております。地域の皆様には、案内看板の設置や環境整備、さらには訪れた皆様に笑顔のお出迎えや湯茶の接待など、地域をあげてのおもてなしをしていただき大変好評を得ております。

会員の皆様にも、この機会にぜひ里帰りしていただければと思います。

さて、今年は合併十周年という節目の年であり、その記念事業として地域の有志の皆さんによる実行委員会が、この夏「高橋まゆみ人形展」を開催され、一万人を超える方に御来場いただきました。有志の皆さんの献身的な取り組みに、ただただ頭が下がります。

また、今年は、スイス・ダボス町との姉妹都市提携四十周年という記念の年でもあり、十月にダボス町長御家族及び駐日スイス大使等をお招きし、記念式典を举行するとともに、ダボス町と記念品を交換し、末永い交流を固く誓いあ

いました。さらに、菅平高原に、二〇一九年ラグビーワールドカップ、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック等のキャンペーン、地誘致の協力もお願いしたところであり、東京真田町の会の皆様にも菅平高原を「世界のスポーツリゾート菅平」とすべく御支援、御協力くださいますようお願い申し上げます。

今後も、東京真田町の会の皆様のお力添えを賜りながら、地域住民の皆様と協働で、真田地域がさらに住みよい街となるよう取り組んでまいりたいと思います。

終わりに、東京真田町の会並びに会員の皆様の益々の御発展と御健勝を御祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

ますます魅力的な

故郷をめざして

上田市議会議員 古市 順子



今年の5月の総会は欠席しましたが、会員の皆様にはお元気度過ごしのことと思います。

真田の郷ではこのところ朝夕は冷え込み、暖房など早くも冬の準備が必要な陽気です。

さて、今年の真田地域の話題は何といってもNHK大河ドラマ「真田丸」の放映により、多くのお客様をお迎えしていることでしょう。我が家の近く御屋敷公園の「真田氏歴史館」の来場者は予想を上回り、9月議会では当初の倍の二〇〇万円の収入補正予算がありました。ドラマの舞台は大阪に移りましたが、この頃も多くの観光客が歴史館や本城に訪れています。

この賑わいが少しでも定住人口の増加につながってほしいとの期待がありますが、上田市も少子高齢化の状況が続いています。平成22年に約16万人だった上田市の人口は、30年後には約12万1千人にまで減少し、65歳以上の高齢者の割合は、約3割弱から4割弱となると予想されています。真田地域でも、傍陽小学校では入学者数が1桁の年もあったようです。長小学校では毎年20名以上で1クラス。菅平では毎年保育園の卒園式で、元気なこどもたちが会っています。本原小学校では現在6学年中、1学年だけが1クラスであとは2クラスです。来年

は今のところ33名で1クラスとお聞きしています。

会員の皆様が子どもの頃は、長、傍陽の人口が多く、本原が少なかったようですが、現在は新しい団地が造成されたことで本原が一番多くなっています。例えばお屋敷公園下の下郷沢では、以前は20〜30位の戸数だったようですが、現在は80戸以上となっています。県外から来られた方も多いですが、その方たちが地域の活性化の担い手になっておられます。

一方、だいぶ前にできた団地は、若い世代への後継ができず、高齢化しているという現実もあります。私たちの世代は、親との同居は当たり前でしたが、今は時代の流れか、別棟か2世帯住宅が主流のようです。本原地域でも親の家のそばに若い世代の家を建てるというケースが多くありますが、条件的に可能な場合ばかりではないので、難しい問題だと思います。

「真田丸」で真田の郷も含めた上田市の魅力を大いに発信できましたので、ますます住みやすい地域づくりのために、新しい地域自治組織も検討されており、皆が意識的に努力していくことが、大切だと思っています。

向寒の折、会員の皆様にはご自愛くださいますように、またお会いできる日を楽しみにしています。

真田の里から

2016

上田市議会議員 三井 和哉



過日の東京真田町の会の総会では、お世話になりました。

いつもの懐かしいお顔に逢え、楽しい時間があつという間に過ぎました。

さて、本年の真田地域では8月に、真田中央公民館を会場に実行委員会を組んで、飯山市にある「高橋まゆみ人形館」のご協力のもと、幼い頃の記憶と懐かしい風景が甦る、「高橋まゆみ人形展」を開催いたしました。

募集に応じたボランティアは1



50名を数え、18日間で延べ11000名を超える真田町内外からのお客様をお迎えしました。おもてなしの心が詰まった手作りの人形展は、訪れた方に大変喜んでいただき、また真田町の地域力を内外に発信することができたと確信しております。

真田丸関連では、上田市議会の観光産業振興議員連盟が視察項目と宿泊と真田丸ドラマ館の招待券をセットにした「政視察パック」を開発し、全国都道府県市区町村議会に呼びかけたところ、北は北海道から南は九州・沖縄まで、日本中の多くの議会・議員に上田に来ていただき、改めて真田ブランドの強さを実感しました。

終わりにりましたが、「東京真田町の会」の皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

合併から十年を

迎える故郷より

上田市議会議員 佐藤 論征

東京真田町の会の皆様におかれましては、益々ご健勝、ご活躍のこととお喜び申し上げます。本年も五月の総会にお招きをい

ただき誠にありがとうございます。皆様にお会いし、皆様の変わらぬ故郷への想いにふれ、大変楽しい時間を過ごさせていただきました。



さて、本誌「日本ダボス」の会報名でもある、スイス・ダボス町との姉妹都市提携が四十周年を迎え、去る十月十一日にはダボス町長、スイス大使らをお迎えし姉妹都市提携四十周年記念式典・歓迎レセプションが執り行われました。ダボス町では、会議室のひとつに「真田」の名称をつけるなど、四十年が経っても変わらず真田地域との友好を大切にしてくださっております。近年では、ウインタースポーツのみならず、トレイルランでも繋がりができ以前にも増してスポーツを通じ、繋がりを強めております。今回のダボス町長来訪の際には、東京五輪や今後の冬季五輪でスイス選手団の合宿地にしてもらいたいと上田市より依頼し、今後も様々な形で更に友好が

図られることが期待される場所
であります。

また、平成十八年に市町村合併
をしてから早いもので十年が経ち
ました。上田市では様々な十周年
記念事業が執り行われたところで
あります。この十年で上田市は合
併の効果を生かし、財政的には東
日本大震災後、小中学校の耐震化
などもあったにも関わらず、財政
は年々健全化してまいりました。

そして、この十年の節目の年に
次の十年に向け、また、将来に向
け大きな変化点を迎えております。

長野大学公立法人化、新潟薬科
大学上田キャンパス設置構想、N
HK大河ドラマ「真田丸」放映終
了に伴う今後の対策、公共施設の
リニューアルなど、上田市にとり
まして大きな課題が山積しており
ます。議会人として、これら課題
に取り組むと共に、真田地域の伝
統を守り、皆様がいつまでも想い
を寄せてくださる故郷を大切に守
ってまいる所存でございます。今
後とも変わらぬ、ご指導、ご助言
をいただきますようお願い申し上
げます。

結びに、東京真田町の会の益々
のご発展と会員の皆様の益々のご
健勝をお祈り申し上げ、第二十九
号「日本ダボス」発行にあたりご
挨拶とさせていただきます。

「真田丸」その後

上田市議会議員

金沢 広美



東京真田町の会の総会に参加さ
せていただき、ありがとうございます。
ました。

上田市議会議員の金沢広美です。
真田町の隣の殿城に住んでおりま
す。議員一期生で、産業水道委員
会に所属しています。

大河ドラマ「真田丸」の放送は
常に高視聴率を記録し、大河ドラ
マ館の来館者は目標の50万人を
大幅に上回り、過去のドラマ館の
67万人をも超えました。10月
現在、なお、記録を更新しており、
宿泊施設や飲食業等の経済効果も
かなり期待が持てます。勢いは、
母袋市長の言葉ですが、正に「真
田丸オソルベシ」です。

真田幸村は数多くの戦国武将の
中で好感度が極めて良いことで知

られております。

勇将・猛将の中には角度を変え
てみると、非情であったり残忍さ
が見え隠れしますが、幸村には
まったくないと言い切れるかもし
れません。そのことが人気の大き
な理由にも結び付いているのだと
思います。

幸村の父真田昌幸。さらに祖父
にあたる真田幸隆、その弟に矢沢
頼綱（昌幸の叔父）という武将が
おります。矢沢という名の通り、
わが殿城矢沢城の城主であり、沼
田城の城代として真田家を支えま
した。

天正8年（1580年）、矢沢頼
綱率いる真田軍は沼田城を包囲、
北条家臣・藤田信吉は降伏し、城
を明け渡しました。これにより矢
沢頼綱は沼田城代に任命されるの
です。

天正13年徳川が上田城を攻め
る第一次上田合戦の間、北条は沼
田城を攻めます。上田では真田昌
幸が徳川軍を撃退、沼田城も矢沢
頼綱が北条を退かせます。

このように矢沢頼綱は80歳で
亡くなるまで真田家を守り支え、
嫡男、矢沢頼康は、真田信之に仕
えます。松代藩になっても真田家
筆頭家老の地位を維持しておりま
した。現在も18代と19代の矢
沢家の末裔の方がご健在です。

真田にお住いの商工会の社長が

《広告欄》

(有)上原重機

クレーン作業は懇切丁寧で定評のある上原重機
へご相談下さい

Rough terrain crane/TADANO

25t/10t/7t/5t

吊上げ：鉄骨・鉄筋・住宅・
庭園（庭石・植木）・その他一般

〒389-0505 長野県東御市和 1086-1

TEL 0268-36-2369 FAX 0268-35-0502

上原重二・恵子（大日向出身田姓一之瀬）



ニットウエハラ

ニット製品各種製造：婦人セーター・カーディガン
・巾着など、秋・冬には新作ニットを中心に
工場内で直売会を開催

〒386-0151

上田市芳田 1823-1

TEL 0268-36-4503

FAX 0268-36-4513

上原良治・輝子



新作 蔵



新作 真田甲冑

真田丸の勢いをより持続させよう
と考えに考え、大学時代の同期で
ある俳優の綾田俊樹さん（矢沢頼
綱役）に来て頂くことになりました。
矢沢城跡へお招きし、さらには
真田町中央公民館での公演をし
てもらおうという計画しております。

ゆかりの地松代、および沼田から
もどなたかを（平成29年1月）お
呼びする予定です。一人の情熱は
人を動かします。

「発展する

故郷のこの頃」

上田市議会議務局長

鳴澤 宏紀



東京真田町の会員の皆様におか

れましては益々ご健勝のこととお
慶び申し上げます。

今年度の総会・懇親会の席では、
とても居心地のいいひと時を過ご
させていただき、心より感謝して
おります。

冒頭から私事で恐縮ですが、実
は父が傍陽出身で菩提寺は信綱寺
ということもあり、真田の地は、
私の第二の故郷というより真の故
郷となっています。このようなこ
ともあり、懇親会では、「親戚の誰
々さんを知っているよ。」というお
話もしていただき、あらためて縁
の不思議さ、大切さを感じたこと
ろです。

昨今、真田の地も折しもの「真
田丸」ブームで多くの観光客に恵
まれているところです。昭和四十
年頃には見ることできた水車小
屋はもうありませんが、清澄な空
気、清冽な水、そして紫幹翠葉の
山々は今も変わらず、歓迎してく
れています。

今回の真田人氣が真田の地の良
さを再発見し、住民の皆様が誇り
を持って毎日を過ごすきっかけと
なり、様々な取り組みを通じて地
域づくりが大きく進み嬉しく思っ
ております。

さて、議会議務局職員の立場か
ら最近の市議会の状況について少
し触れさせていただきたいと思ひ
ます。私などのように議会活動に

勤しむ議員の皆さんの身近にいる
者からみますと時代の変化ととも
に年々議員の仕事が多岐にわたり
多忙となり、議員の皆さんも大変
だと思われかけますが、市民の方と
お話ししていますと議員は私たちの
ために本当に働いてくれているの
かといった思いがあるようです。

かつては選挙で選ぶと四年間は
議員に市政を白紙委任したという
イメージでしたが、もうそういう
時代ではありません。いろいろな
市民の皆さんの声に常に耳を傾け
意見集約し、議会活動に反映させ
ていくとともに議会の活動を広く
市民の皆さんにフィードバックし
ていくことが大切であり求められ
ています。

このため、上田市議会では、広
報広聴活動に意を注ぎ特別委員会
を常任委員会とし取り組んでいま
す。十月には市内九か所で議会報
告会と五常任委員会ごとのテーマ
別車座集会が開催されます。この
日本ダボスをご覧いただく頃には、
市民の皆さんと議会の相互理解が
大きく進んでいるものと思ってい
ます。

末筆となり恐縮ですが今回の寄
稿の機会に対してお礼と東京真田
町の会の益々のご発展を心よりご
祈念申し上げます。

《広告欄》

ARTIST

森 本 幹 生

(元) 日本選抜美術家協会常任理事審査員
国画院会員、国画水墨院常任理事

〒211-0062

神奈川県川崎市中原区小杉陣屋町 1 丁目 6-8

☎ 044-733-0267

信州◇戸倉上山田温泉

ホテル

圓山荘

〒389-0821

長野県千曲市上山田温泉 2-9-6

TEL 026-275-1119

FAX 026-275-1109

和風旅館 別館

西乃館

〒389-0821

長野県千曲市上山田温泉 1-59-11

TEL 026-261-0324

FAX 026-261-0325

信州・源泉掛け流し温泉宿

「地域とともに歩む 農業・地域づくり」

信州うえだ農業協同組合

代表理事組合長 坂下 隆行



東京真田町の会の皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、ふるさと「信州うえだ」の農畜産物をご愛顧いただくとともに、地域に根ざした農業づくり、地域づくりの取り組みに對しまして、ご支援、ご協力をいただき心より御礼申し上げます。

本会報「日本ダボス」におかれましては、貴会の設立以来発行されている大変歴史ある会報であり、発行にあたっては、役員の皆様をはじめ会員の皆様方のご尽力はもちろんのこと、「ふるさと」を思う会員各位の活発な活動と強い絆の賜物であると感銘を受けたところでございます。

さて、皆様のふるさと上田市真田町を含む上小地域は典型的な内陸性気候で昼夜・年間の気温差が大きく、降水量が少ない等の自然条件を活かし、果樹、野菜、花き、米、キノコなど、幅広い農産物をバランスよく生産しているのが特徴であります。

本年も生産農家の皆様のご努力により、信州うえだ自慢の農畜産物を数多く生産・出荷することができております。とりわけ、真田地域は、菅平高原を有し、レタスをはじめとした野菜の一大産地であります。今年は好天に恵まれ豊作となり、品質の良い信州うえだ自慢の菅平高原レタスを全国各地にお届けすることができました。

NHK大河ドラマ「真田丸」の放送がスタートした本年、上田市には連日大勢の観光客が訪れ、街全体が活気に満ち溢れています。「真田丸イヤー」で盛り上がりを見せるなか、当J.Aも真田丸ドラマ館内へ安全・安心な食と農の応援コーナーを出展し、地元農畜産物のPR、信州うえだの“おいしさ”を発信させていただいております。

大河ドラマ「真田丸」の放送を契機に、真田の知名度は確実に上がっております。この真田丸の上昇気流に乗り続け、これからも多くの方々へ信州上田を知ってもら

い、何度も訪れてもらえるよう、地域と一体になり、上田地域全体が活性化する取り組みをすすめてまいります。

今後も地域とともに歩み、地方創生にもつながる農業づくり・地域づくりに取り組んでまいりますので、今後ともご支援・ご協力をいただければ幸いに存じます。

結びに東京真田町の会の更なるご発展と会員各位のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

「東京真田町の会総会

にお招きいただき」

信州うえだ農業協同組合

真田地区事業部長 長嶋 巖



東京真田町の会の皆様方におかれましては、お元気で活躍のこ

とご喜び申し上げます。また日頃から、ふるさと真田の

《広告欄》



土木工事 解体工事 測量 造園 除雪

株式会社山崎商會

代表取締役社長 山崎 勇治

〒386-0002 長野県上田市住吉 1039-2

TEL 0268-24-6221 FAX 0268-27-7558

e-mail : yamazaki_shyoukai@yahoo.co.jp



山崎公認会計士事務所

Yamazaki CPA Office

公認会計士 / 税理士 山崎 友揮

(長野県上田市住吉出身)

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-6-7 岡部ビル 5F

tel. 03-6272-6539 fax. 03-6272-6765

e-mail. yamazaki@yy-cpa.com

農産物をご愛顧いただき、心より感謝申し上げます。

東京真田町の会総会につきましては、昨年度よりお招きを預かり、出席をさせていただいております。その都度、会員の皆様方には温かな歓迎をいただくとともに、皆様のふるさとを想う心に触れながら、私も心地よいひと時を過ごさせていただいております。

また、地元で暮らしているとあたたかも当然のように感じてしまいがちですが、会員の皆様とお話しさせていただくことで、改めて、生まれ育ってきた真田の良さ・魅力を顧みる良い機会となっております。

さて、現在の信州うえだ農協は、平成8年11月に真田町、上田市、東部町、丸子町、塩田、よだくば南部、青木村の七つの農協が合併し発足いたしました。皆様がご存知の長農協、本原農協、傍陽農協は、遡ること平成元年にこの三農協が合併し真田町農協となっております。時代の流れのなか、合併を重ね大型農協となった信州うえだも今年で22年目を迎えており、呼び方も「農協」から「JA」の愛称で呼ばれることも多くなってきました。

現在、真田町の農産物は平成元年当時と比べ、減少傾向にはありますが、恵まれた自然環境を活か

し、菅平高原レタスをはじめ、本原・傍陽のリンゴに至るまで農家の皆さんが丹精込めて生産しております。私が幼少の頃、盛んに行われておりました養蚕・畜産業は現在、真田管内では営まれておらず、農業経営形態も時代とともに変化してきておりますが、先人たちが築いてきた農地を守るため、行政機関をはじめ地域の皆様と手を取りながら、みどり豊かな真田の里を守るための取り組みをすすめてまいりますので、更なるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会の益々のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。あいさつとさせていただきます。

「運賃低減バス」をご存知ですか？

会長 山口 元彦

上田市では、平成25年10月1日から、運賃を下げて乗りやすくした「運賃低減バス」が走っています。市内を3つのエリア（運賃区界）に分け、同一エリア内での乗降は一乗車当たり上限300円、隣接エリア間での乗降は一乗車当たり上限500円となっております。

また、たとえば、上田駅から乗った場合、真田地区では真田まで300円、大日向まで400円、菅平まで500円、傍陽地区では横道・岡保まで300円、大倉・入軽井沢まで350円であり、所によっては以前の半額以下です。

これは、運賃を下げることにより乗客数を増やし、路線バスを活性化させて維持・継続を図るため、差額を市が補助しているのです。それにより乗客数が平成25年9月以前の1・5倍になれば、この運賃で維持していくことができると考えられています。試しに平成28年9月末まで3年間やってみるということでしたが、乗客数は平成27年度で平均約22パーセント増であり、上向きではあるものの不十分な状況ですので、さらに3年間延長して努力を続けるそうです。

地域の大事な足である路線バスを存続させるため、地元の方々ももっとバスを利用してくれるよう期待するとともに、上田市外に住んでいる私たちも、故郷を訪れるときなどに、できるだけバスを利用するようにして、応援していかうではありませんか。



ひばし

《広告欄》

菅平まんじゅう
製造、販売

かんせいえん
菅清園

地酒・地ワイン・地ビールも揃えております

菅平高原 菅清園 TEL: 0268-74-2525 Fax: 0268-74-2655

理事就任に

あたって

理事 神田 幸雄

(横尾出身)



このたび、理事にと推薦いただきました横尾出身の神田幸雄と申します。どうぞよろしく願います。

「東京真田町の会」を知ったのは七年前四月に仕事で九段に出張の際、中学同級生に四四年ぶり会い、一杯飲みに行こうと近くの酒屋で美酒を酌み交しながら東京真田町の会や同級会の話を聞いたことがきっかけで、その年の総会に出席入会、以降毎回ではないのですが出席、同郷の方々と、楽しい一時を過ごさせていただいておりました。今年度の総会当日、「理事を考えておいて」と言われ唐突であり迷いましたが、お受けすることに致しました。

さて私事、仕事をリタイヤ後、

目標のない日々を過ごすのは性に合わず、「学ぶに遅過ぎることはない」、「七〇の手習い」の勢いで一年半前から生涯学習講座（語学）を仲間（大学生から高齢者まで）と共に楽しみながら受講しています。他には健康のためにも思い、ウォーキングを日課とし都県境（東京都町田市と神奈川県）を流れる境川流域の愛称「境川ゆつくりロード」を四年前から続けています。JR横浜線古淵駅から5〜6分、境川橋を基点に町田市役所近くの新明橋までの往復を主コースにしています。この区間では今年正月箱根駅伝優勝・青山学院大学陸上部員（長距離）が早朝に緑のタスキを掛け練習している様子が見られます。



この川の流域には多くの鳥や魚が生息、カワセミ、かも、白鷺、川鵜など、川には鯉、亀、時にはナマズの姿も見られ、ここに生息

する鳥や魚などを見ていると心が穏やかな気持ちになります。特にカワセミは私の心を癒やしてくれます。ウォーキングをはじめたころのことですが、カワセミに遭遇、立ち止まり眺めていると翡翠色の宝石を思わせる美しい姿の鳥が一瞬空中に停止、羽ばたき、狙いを付けて獲物を目がけ水中に一直線に突っ込む姿を目の当たりにした光景は大変衝撃的でした。カワセミを見たのは初めてで、その日からこの鳥の虜になり、散歩の都度調査を行い体色、飛び方、採餌、鳴き声等々多くのことを知り学ぶことが出来ました。この鳥は町田市の「市の鳥」シンボルとして市民に親しまれています。小枝に止まっているカワセミを見て足を止め眺める人達を見ると私同様心癒されていくものと思います。カワセミのみならず花や虫、魚や鳥に、こうした心の癒しや楽しみを受け続けられるためにも川の護岸の看板「川をきれいに美しく」を心に刻み、多様な生きものが存在する環境を守っていくことが大切だと散歩しながら思います。ウォーキング後、汗を拭いた河川を眺めながら室生犀星の抒情小曲集「ふるさとは遠きにありて思ふもの」そして悲しくうたふもの・・・と口ずさみ、ふるさとの山河を思い浮かべると望郷の念にかられることも

《広告欄》

九段中央法律事務所

誠実に、確実に、そして親切に

弁護士 山口元彦

弁護士 鈴木 謙

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-10-1
九段勸業5階

弁護士 奥野伸二郎

TEL 03-5215-1511 FAX 03-5215-1512

不動産に関する問題 相続問題 金銭問題
交通事故 刑事事件・少年事件 その他

地下鉄東西線・半蔵門線・都営新宿線 九段下駅
徒歩5分（ホテルグランドパレス向かい）

あります。最近はこの川に棲む「川鵜」にも興味を持ち散歩しながら調査を始めたところです。こんなことで日々平凡に過ごしております。

最後に、理事としての任務はまだ決まっていませんが一生懸命務めたいと思います。

真田への思い出と東京

真田町の会へのお誘い

理事 坂口 典和

(真田出身)



私が生まれ育った真田の部落は、遠く北に四阿山を臨み、近く手前に松尾城、そこから東に、日向ばやし、むこう山、城山が横に並ぶ。この三山が西に向かってなだらかな傾斜地を作りながら進んで部落を作り、最後はストンと崖から神川に落ちて終る。また川の向うには険しい岩山の剣岩が背筋を伸ばして殿と居座る。こんな地形を私

たち子供は絶好の遊び場と捉えて、日向ばやしや剣岩の頂上から小枝にまたがり滑り降りた。夏は神川で水を浴び、凍えるほど長く水に浸って、冷たくなった体を熱い石の上で温めた。冬は近くの山の麓でスキーやそりに興じた。耳を真つ赤にし、手に息を吹きかけ震えながら滑った。色々な行事も行われた。部落対抗の野球にバレーボール。学校の校庭で競った大運動会。大人も子供も熱狂し、大声で声援をおくった。春は田植え、秋には稲刈り。子供も大人と一緒に、なつて懸命に働いていた。このような時ここが、村から町に代わると聞いて心踊った。上田市の町のように賑やかなる。そう思っ喜んで。町とは賑やかな場所を指して言う言葉だと思っていた。

真田町が生まれて長小学校となり、その後、真田中学校を第五期で卒業した。

そして昭和39年3月の末、思いう出をいっばい残して、この地を離れ東京に向かった。遠く向こうに広がる未知の世界が私をひきつけた。新幹線が走り、高速道路ができ、オリンピックが始まった。東京は活気に満ちていた。洋服も新調した。私も東京中を走り回った。休日もしつづ増えた。海外旅行は自由化され、だれでも海外に行けるようになった。

東京に初めて出てきた時、私は、局番が並んだ兄の電話番号にダイヤルする事が出来なかった。はばかりしかなかった。着いた早々、強力なパンチを受けてしまった。電話機には()の記号が無い。カッコの意味が分からなかったのだ。今は誰でも個人で電話を持つ時代となった。生活様式も進歩したが、東京の姿もどんどん変わっていく。数年前、地下鉄を利用し家に帰る途中、東京に来て初めて働いた丸の内界隈が、再開発され大きく様子が変わったと聞いていたので、興味を持って大手町で途中下車した。一本のはずだった地下通路は四方に広がり街を作っている。途端に方向感覚ゼロ。情けない。地上に上がると、かつて東洋一を誇った丸ビルは無く、幾つもの高層ビルに代っている。壁は厚いガラスなどから成り、高く大きく、青く空や雲を反射させている。これが東京の今の姿なのだろう。そう思った。スーツとネクタイに別れを告げて久しく、終日テレビの前に座っている者が来る所ではないはじかれた人間のように思えて、悲しいかな足が固まってしまふ。出て世間に触れなければおいてけぼりにされてしまふ。そう思った。

こんな時、東京真田町の会が主催する故郷へのバス一泊ツアーに誘われた。チャンス到来。費用も

《広告欄》

空き家・留守宅・空き家の管理 お任せください

大切なお家を
建物のプロが
しっかり守ります。

お電話ください

(株)空き家のおまわりさん

〒386-0151 長野県上田市芳田 468-6

(株)幸和建設内)

代表取締役 宮下 幸良

TEL 0268-36-3114

FAX 0268-36-3838

mail : info@kowa-kensetsu.jp

第二十九回 総会・懇親会のご報告

事務局長 鈴木 邦子（横尾出身）

納得。すぐ同意した。最初は知らない人の中への参加が、すこし不安でもあったが、全くのとりこしし苦労。郷里を同じくし、同じ学校を卒業し、同じ行事をこなして来た仲間同士。不安など有ろうはずが無い。話は弾んで同じ糸で結ばれてくる。たのしい。一泊はあつという間に終わる。皆と別れた後は、充実した時間を過ごせたことに満足し皆に感謝する。

今でも真田には、年2〜3回帰る。変わらぬ大地。かつて残した自分の足跡を探しに歩きたくなる。この会が誕生して今年29年目だという。今日まで引き継いでくださった皆様の努力に感謝申し上げます。今般、この歴史ある東京真田町の会の役員に就任するに相成り、栄誉な事と思うと同時に、重い責任も感じております。

また出来ますれば、この「日本ダボス」をご覧になられた全ての皆様が、故郷と都会を結ぶこの東京真田町の会の存在に興味を持たれ、より大きく育つ様見守って下さり、又故郷を離れた多くの皆様がこの会にご参加頂けましたらより楽しいもの、素晴らしものとなる

と信じ参加を願っております。これからは役員の一人として、皆さまのお手伝いをさせていただきますので、どうかご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

平成二十八年五月二十二日アルカディア市ヶ谷五階の「穂高の間」

において第二十九回総会・懇親会が開催されました。会員五十二名、上田市行政関係から三名様、上田市議会から六名様、JA信州から二名様、東京上田会、東京丸子会から各一名様、真田家十四代当主様に御出席を賜りました。「信濃の国」を声高らかに斉唱！

I. 総会

司会 監事 荻原啓治

1. 会長山口元彦挨拶（要旨）

上田市から教育長様始め大勢の皆様にご出席頂きました。後程ご来賓の皆様をご紹介させて頂きま

す。皆様本日はお忙しいなか本場にありがとうございました。真田丸も好評のうちに放映されており、大河ドラマ館にも、観光客が多く、対応に沢山の取り組みがなされております。過日、長谷寺に行きましたところ狭かった道も広くなり、駐車場も増えています。また四月には、真田丸フォーラムがサントミューゼの大ホールで行われ、真田氏にゆかりのある十四市町村からお国自慢の氏の集まりや、トークショーなどあり、また上田真田まつりでは、幸村公や武将姿に扮した、九度山町長様や真田徹様そして真田丸出演俳優市民の皆さんでの出陣パレードがあり大盛り上がりでした。四市町村が合併してから、十年になり、地元では新しく「地域の分権と住民自身のまちづくり」ということで準備会や地域協議会等も立ち上げ活性化に力を入れておられます。東京真田町の会も負けずに頑張ろうと思います。さて、旅行につきましては、昨

年は上田市と地域自治センターの皆様にご尽力いただき九度山町を訪問することが出来ました。今年は真田丸に因み、真田街道を巡る旅を計画しているところです。どうか大勢の皆様が参加して下さいよう、楽しみにしております。

2. 上田市教育長 小林一雄様

（ご挨拶の要旨）市長にかわって、私からご挨拶を申し上げます。

待ちに待った大河ドラマ「真田丸」の放送がスタートしました。第三話では、真田氏本城跡で撮影を行ったシーンが登場し、ドラマを通じて上田市の魅力を発信しています。また、旧市民会館に「信州上田真田丸大河ドラマ館」がオープンしております。ふるさとお帰りの際にはお立ち寄り下さい。新生上田市は、十年目の節目を迎えました。市では「合併十周年記念事業」を展開しております。真田地域では、三月五日から十一日の期間、市職員が陣羽織を着用して業務に従事する「真田陣羽織ウィーク」を実施し、好評を得ました。菅平高原では、二〇一九年のラグビーワールドカップ日本大会、および二〇二〇年の東京オリンピックを含めた事前合宿地の誘致が進められております。また、以前より、合宿に訪れる選手や監督からは、屋内運動場やジムなどを備えた施設整備の要望が強く出されておりました。これに応えるべく、市では「菅平地区振興施設」の整備を行い、「世界の菅平高原」へ向けた取り組みを進めてまいります。

3. 議事

(1) 平成二七年度会務報告および会計報告 会長山口元彦

- (2) 平成二七年度会計監査報告
監事 深町共榮
- (3) 平成二八年度事業計画および
予算の決定 会長山口元彦
以上全員一致で承認頂きました。
- (4) 役員改選 会長山口元彦
退任 飯島慶三郎副会長
花岡孝雄理事
新任 神田幸雄理事
坂口典和理事
着任 金子 誠 副会長
全員一致で承認頂きました。

Ⅱ. 懇親会

- 司会 副会長 柴田 小夜子
1. 歓迎の挨拶

顧問 中島正江

本日は、初めておいでになった
教育長様、また新しく就任された
地域自治センター長様、そして大
勢の皆様、お忙しいなかご出席い
ただき、嬉しく思います。上田市
では真田丸で大変盛り上がりとお
りますが、人一倍真田愛の強い私
としましては、もっと地元野菜の
や、さまざまな産物を、東京に宣
伝する様子を運んで貰いたい、日
頃の買い物をするにも、手に取り
六文銭だ！と見て買ってあります。
東京真田町の会も頑張っております。
ですので、何かお手伝い出来るかと思
いますのでよろしくお願い致します。

ます。

皆様と沢山お話をしたいと思
いますが、この後、所要があり失礼
いたしますが、時間の許す限りご
歓談いただきたいと思います。皆
様本当に有難うございました。

2. 来賓のご紹介

副会長 柴田小夜子
ご来賓の皆様を紹介させてい
ただきます。

上田市行政関係の皆様

上田市教育長

小林 一雄様(新田)

真田地域自治センター長

岩倉 範明様(五加)

真田地域自治センター

地域振興課地域政策係

伊藤 岳彦様(菅平)

上田市市議会関係の皆様

上田市市議会議員

土屋 陽一様(新田)

上田市市議会副議長

小林 隆利様(鈴子)

上田市市議会議員

三井 和哉様(岡保)

金沢 広美様(岩清水)

佐藤 論征様(真田)

上田市市議会事務局長

鳴澤 宏紀様(常盤町)

JA信州うえだ関係

JA信州うえだ真田地区代表
理事 神林 章様(竹室)

事業部長 長嶋巖様(真田)

在京他会の皆様

東京上田会会長
山崎 齋明様

東京丸子会会長
土屋 博様(上丸子)

仙台真田家第十四代当主
真田 徹様

以上、十四名の皆様に御出席賜
りました。

3. 来賓祝辞

○ 上田市市議会議員

土屋 陽一様(祝辞要旨)

総会の資料を拝見しまして、ふ
るさと真田町を思う気持ちが事業
の中にもあり実行されており、大
いに発揮していると感じました。
先程から、真田丸の話が出ており
ますが、想像以上に多くの方々
にお越しいただいております。また
議会では三井議員が観光議員連盟
をつくり、全国の市町村県に呼び
かけ、上田市で泊まって貰うよう
力を入れておりまして、泊まって
下さった方には、大河ドラマ館の
チケットを差し上げるなど、色々
な形でやっております。正に真田
の原点になっている、東京真田町
の会が、この機会に、より一層発
展し、真田丸の魅力を感じながら、
若い人に入会してもらい、益々活
躍してもらいたいと思います。



第29回の総会・懇親会の写真は p.2 にもあります。

○ J A信州うえだ真田地区代表理事 神林 章様(祝辞要旨)

大勢の皆様が一堂に集まり、近況を話し合いふるさとを思う気持ちちは東京真田町の会の絆を一層強くするものと思います。

J Aは、地域とふる里の景観と生産を守るため地域と一体となり、荒廃しつつある農地の改良に努めて参りました。

最近では若い農業者も多くなつており、地域が活性化する兆しもみえます。

いま、上田市や真田は、真田丸の大河ドラマで大変にぎわっております。五月は、花も美しい季節でございますので、真田の歴史散策などいかがでしょうか、皆様のお越しをお待ちしております。

○ 東京上田会会長

山寄 齋明様(祝辞要旨)
本日、東京真田町の会総会が盛会裡に出来ましたこと、誠にありがとうございます。

私は室賀村の出身です。過日の大河ドラマ「真田丸」の放映で信濃の国衆室賀氏が真田氏に暗殺されました。今日、敵打ちに出席したわけではありませんので・・・。

私自身、真田の郷のことを知りたくて此の三月に上田城から歩いて訪ねました。砥石城跡・米山城跡・櫛形城跡、真田氏歴史館、真

田氏本城跡、長谷寺、山家神社を廻りました。次回も楽しみます。

4・乾杯の挨拶

会員 柳沢 實様(萩)

皆さん、しばらくでございませう。昭和の生まれの方が多いかと思ひます。私は大正末期の生まれです。皆さんの、ご長寿を祈念いたしまして。乾杯！

5・宴会及びアトラクション

○ 仙台真田家第十四代当主

真田 徹様の談話

このごろ、私の忙しさは表現しがたいほどです。各所から講演の依頼があつたり、話題の提供に向いたり、こなすのが大変ですが、元気に応じています。暖かくなつて、元気な真田丸に惹かれて大勢が訪れ、大河ドラマ館も大盛況になることを期待しています。

○ 歌手 浅倉みよ子様(クラウン所属)の熱唱と歓談

真田丸放映中のことから「ああ・上田城」などを熱唱されて、雰囲気が一層盛りあがりました。続いて、上田市から頂きました「りんご券」をめくり全員、「ジャンケンポン！」とにぎやかな勝ち抜き戦にのぞみ、しばし童心に戻

られたのではないでしようか。故郷の思い出ばなしや四方山話で盛り上がり会場が笑顔で一杯になりました。

*全員で輪踊り「真田郷」最期に全員手をつなぎ「ふるさと」を歌いまた来年会いましょう！！

6・閉会の挨拶(理事 金子誠)

宴もたけなわですが、そろそろ時間になつてしまいましたので閉会の挨拶をさせていただきます。

本日は、公私ともお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

今後とも健康管理に留意され、来年も皆様のご出席を心より役員一同お待ちしております。

本日はお忙しい中、お集まりいただき有難うございました。

☆ 総会出席会員名簿

(敬称略・順不同)

長

- 一之瀬和夫(大日向)
- 岩崎 みち子(菅平・正木)
- 大久保 あき子(菅平・川上)
- 大橋 けさ子(菅平・山本)
- 荻原 啓治(四日市)
- 川上 年美(菅平・宮崎)
- 川上 秀盛(菅平)
- 神田 幸雄(横尾)
- 倉島 義明(横沢)
- 坂口 典和(真田)

椎名 巳津男(横沢・山口)

塩沢 英巳(大日向)

柴田 小夜子(菅平・市村)

杉崎 壽三男(菅平)

鈴木 郁夫(横尾)

鈴木 邦子(横尾・鈴木)

武田 守央(真田)

中島 正江(戸沢・関谷)

長田 ムネ子(真田・矢島)

野村 勝太郎(大日向)

花岡 孝雄(横尾)

宮島 光男(横尾)

柳沢 郁政(戸沢)

山口 元彦(横沢)

坂内光也(懇親会ゲスト・野村様の尺八師匠)

本原

飯島 慶三郎(下原)

鈴木 民子(竹室・高寺)

和田 美木子(大畑・荒井)

傍陽

内海 章緒(大庭)

海瀬 弘司(曲尾)

金子 誠(田中)

小林 正子(下横道・堀内)

桜井 和子(下横道・中沢)

佐藤 昌江(萩・柳沢)

杉村 房枝(萩・落合)

関 弘吉(中組)

高畑 悟郎(大庭)

館野 清實(田中・堀内)

中沢 欣勇(下横道)

中村 洋子(田中・木下)

鳴沢 隆(傍陽)

橋詰 吉万雄(中組)
半田 喜章(中横道)
平田 金子(岡保・橋詰)
深町 共榮(田中・山岸)
堀内 福(下横道)
堀内 寿美(上横道)
堀内 幸(上横道)
堀内 保芳(三島平)
牧内 泰男(萩)
牧内 和子(牧内泰男氏夫人)
武捨 衛人(中組)
柳沢 實(萩) 以上五十二名

各部の活動報告

(一) 親睦旅行

(担当 金子 誠理事)

恒例の「ふるさと訪問」では真田丸の放映が終盤を迎えている故郷真田を訪ねました。

- (1) 期日 平成28年11月6日(日)～7日(月)
- (2) 参加者 17名
(男性10名、女性7名)
- (3) 日程

一日目(群馬県 岩櫃城跡「いわびこ」・ハツ場ダムコース)

JR大宮駅西口ソニックビルのパレスホテル前に集合・鹿鳴荘の送迎バス乗車(9時出発)→高速道東松山IC→(途中休憩)→渋川伊香保IC→145号(ロマン

チック街道)→岩櫃城跡(見学路の吾妻線橋下は背丈が低く大型バスが通過できず、岩櫃城への接近を断念)JR吾妻線の郷原駅駐車場にて岩櫃山を背景にして撮影→ハツ場「やんば」ダム(車窓から見学)→浅間酒造観光センター(昼食・買物)→真田街道(車窓から紅葉観賞)→鳥居峠→ゆきむら夢工房(休憩・買物)→鹿教湯温泉・鹿鳴荘へ16時15分頃に到着。

二日目(真田丸大河ドラマ館・上田市立美術館・真田氏歴史館コース)

鹿鳴荘を9時出発→上田城で真田地域自治センター伊藤様の出迎えを受け大河ドラマ館見学→市立美術館(合併10周年記念原田泰治氏が描く原画展「ふるさと詩情」の展示場で真田町の風景2点描等を鑑賞)→真田氏歴史館見学(真田庵で昼食)→大松農園(りんご園で買物)→ゆきむら夢工房で買物→高速道上田菅平IC→(途中休憩)東松山IC→JR大宮駅西口へ18時10頃に着。

今回の「ふるさと訪問」旅行にあたっては、真田地域自治センター長 岩倉範明様、および同センター地域振興課 伊藤岳彦様にはお忙しいところ、いろいろとご配慮を賜り大変お世話になりました。誠にありがとうございます。

深く御礼を申し上げます。
旅行参加者名簿(敬称略一七名)

一之瀬和夫(大日向)
大橋 けさ子(菅平)
金子 誠(田中)
川上 年美(菅平)
川上 秀盛(菅平)
坂口 典和(真田)
佐藤 昌江(萩)
柴田 小夜子(菅平)
関 弘吉(中組)
館野 清實(田中)
中村 洋子(田中)
平田 金子(岡保)
深町 共榮(田中)
堀内 幸(上横道)
堀内 保芳(三島平)
武捨 衛人(中組)
山口 元彦(横沢)

(二) スポーツ

(担当 荻原啓治・堀内 政理事)

(1) 春季マレットゴルフ

5月19日(木)に例年通りの内容で、高藤圓野火止マレットゴルフコースにて開催しました。参加者は四名(滝沢夫妻、荻原、山口)でした。

(2) 春季合同ゴルフ大会

4月21日(木)恒例の上田会との合同コンペは八王子の武蔵野ゴルフクラブを会場とし、参加者18名で開催されました(上田会16名、真田町の会2名)。晴天のもと続出した好プレーに参加者は大いに沸き立ちました。そして、



恒例の親睦旅行―第1日目―(右) 岩櫃城跡を背景に、(中央) 松尾古城を背景にして幸村夢工房前で、(左) 鹿鳴荘で楽しみの懇親会です。

祖神の行事「おねじとワラ馬引き」は上田小県地方の他では行なわれていないので、例年マスコミの取材で風物誌として話題に成っています。しかしベテラン芸員に伺うと八ヶ岳南麓は真田郷と同じに朝廷の御牧が置かれており、ワラ馬行事は北杜市、韮崎市の多くの集落で現在も行われている、決して珍しい行事では無いと言います。各所の市町村誌をめくると、2月8日に子供がワラ馬を引き道祖神に行きおまいりをする、各家に帰りワラ馬を屋根に揚げ上げることは戸沢と同じで、馬の背の俵の中身は集落により相違するとの事でした。誰がこの行事を戸沢に伝えたのでしょうか「ワラ馬」のみが知る事ですが、武川衆の柳沢樋口氏が移住に伴うものに違いありません。

武川衆は北杜市の諏訪口の防衛に当たっていた土豪の武士団で、武川沿いの白州、教来石、柳沢等の10カ村ほどの集落で構成されていました。1548年の上田原の合戦の時、武川衆の頭領は馬場春信で真田幸隆は武田信玄に従い合流し、両者は偵察先導の指示を受けています。長篠の合戦の時、馬場春信は真田信綱、昌輝と右翼で奮戦したが、ともに戦死しました。織田軍が新府城を攻め武田勝頼が滅びた時、武川衆の頭領は柳沢信

俊でした。「めいめいの小屋に立て籠もり敵軍を分散させ襲った」と記録があるから、戸沢の行屋という小屋は警備詰所であったと思われます。信俊は八王子方面に逃れ徳川氏に仕えて、孫の柳沢吉安は五代将軍、徳川綱吉側用人と成りました。他の住民も諏訪、佐久方面に逃れ移住したと言われ、現在の北杜市柳沢区には柳沢姓を名乗る住民はおらず「柳沢氏発祥之地」の石碑が有るだけです。



真田郷戸沢の「行屋」は甲州の武川衆から伝わった警備小屋と思われる。

なぜ真田昌幸は真田家菩提寺の長谷寺があつたのに打越寺（信綱寺）を別に創建し、戸沢武装集落を造つたのでしょうか。着目するのは戸沢が真田城と真田武装集落とが同列に位置する事です。真田集落の入口の天神宮は重臣、河原隆正の住居跡で信綱、昌幸ら男五人兄弟の母の生誕地で有りますが、

また沼田までの真田街道入口で通行税を徴収する関所であったと思われる。戸沢集落は前面の溪谷と裏山が迫っていて神川西岸で敵侵入を防ぐ重要拠点で有りました。二つ目は吉田堰（用水路）の取水口が戸沢前面の神川に有り、一次防衛線である砥石城と矢沢城の間の水田に水を張り堀状にする任務が有ったのです。

三つ目は退却道の確保です、伊勢山にいた真田昌幸にとつて退却先は上州の岩櫃城でありました。駆け込みの打越寺から大柏木の沢を登り詰める大倉と大日向に通じ、鳥居峠を越える秘密ルートを整備していたと思われます。この時代すべての大名は攻撃以上に退却の困難さを考えており、伊達政宗は仙台の青葉城に在城していたが松島の瑞巖寺は駆け込み寺で有りました。寺の屋根には見張塔があり、廻りの山には守備兵用の洞穴を設け南面の松島湾には船を浮かべていたのです。（2016年10月）

真田丸と英国の

EU離脱

鳴沢 隆（萩出身）

《広告欄》

齋藤指圧治療院

齋 藤 勇 一
(真田出身)

〒153-0043 東京都世田谷区松原 5-56-10
シャポール東松原 301 号
☎ 03-3322-6622

今般当会に入会させていただき
ました。傍陽の萩出身です。昨年、
65歳をもって、40数年に亘つ
た会社生活に一区切りをつけたば
かりです。この機に、これまでは
時間がなく難しかった非常勤役員
やボランティア活動を解禁しまし
たが、想定以上に予定表が埋まり、
ゆとりあるリタイア生活とは呼べ
ない日々になりつつあります。



今年を振り返ってみて、うれし
かった事の一つはNHK大河ドラ
マで「真田丸」が全国的に人気を
集め、高い視聴率を獲得したこと
です。一方ショックだったのは6
月の英国の国民投票の結果、英国
が欧州連合（EU）から離脱するこ
とが決まったことです。私自身、
英国、ドイツに10年近く生活し
た経験を踏まえ、欧州統合の意義
を高く評価してきました。改めて
考えると、真田丸人気と英国の離
脱には共通項が多いと気がつきま
した。

れました。特に、徳川を二度撃退
した昌幸の戦略・戦法については
詳しい説明があり、子供心に感激
した記憶があります。先生からは、
郷里の大先輩として大いに誇って
よいと鼓舞された印象もかすかに
残っています。私は経営コンサル
ティングの仕事長くやりました
ので、戦略・知略の権化のような
昌幸をよく話題に出したものです。
そこで気づいたのは、真田三代
は日本全体で知られており、真田
ファンは各地にいることです。戦
国時代は明治維新同様、日本の歴
史や文化の共有財産で、その時代
に活躍したリーダーはいずれも全
国レベルで英雄です。戦国時代だ
けでなく有名な歴史物語はテレビ
や映画に頻繁に登場しますが、視
聴者である日本国民は、文化の共
通性を確認し、民族国家の信頼関
係の基礎になっていると言えそう
です。

あり、今回の問題は英国の問題と
いうよりは、EUの問題と見るべ
きでしょう。
周知の通り、欧州統合は現在参
加している欧州28カ国が、歴
史・文化・民族の違いを乗り越え
て、経済・政治の統合を目指そう
というものです。国家・民族対立
がもたらした二度の欧州大戦に対
する真摯な反省から、統合により
恒久平和も目指そうという高邁な
プロジェクトです。同時に国境の
ない大きな単一市場を作り、経済
的にも米国や日本に負けない競争
力を目指しています。しかし、総
論賛成、各論反対的な議論は尽き
ず、一步一步時間をかけて進むし
かありません。

世界各地で近隣国間あるいは民
族間の紛争は多数発生しています
が、その解決の手段として広域の
経済政治連携は有力な選択肢です。
その最初の挑戦が欧州統合であり、
今回の試練を何としても乗り越え
てほしいと願うばかりです。以上

真田町のおもいで

― 理事会でのよもやま話 ―

顧問 中島正江（戸沢出身）

理事会も以前は毎月のようにや
っていましたが、今は必要に応じ

てやっています。
皆さんで会えば会議の始まるま
で真田での思い出の話が出ます。
例えば、大日向方面の人達は、傍
陽のお寺のかへる合戦の話に「そ
れどこにあるだえ」と、「え、知
らないの!」と、邦ちゃんと私等
は「傍陽のお寺だよ」って、又傍
陽方面の堀内さん達は誇らしげに
説明してくれますよ。



楽しみの一つは地域の祭

また電車の話も出ますよ。真田
方面行きばかりで、傍陽行きは本
原で乗り換えるんだよって不満げ、
私も傍陽方面への電車に乗ったお
ぼえあるんだけど・・・、どこ
通って行くのって聞き、本原から
横尾の千古温泉の辺りを通ってさ、
曲尾傍陽方面へ行くんだよ。今で
も本原駅でアナウンス「曲尾傍陽
方面はお乗り換え下さい」っての
ことばも、今でも頭の片すみに残
っています。

今は元会長三井芳郎さんのお宅
に真田まつりのあと泊まらせて頂
き、「ここが曲尾の駅と傍陽の駅あ
とだよ」って教えてもらっている
ので少しわかってきました。その

先は何か十福の湯とか温泉があると、真田町の会の旅行で傍陽の峠で初めて知りました。昔はさ、上田まで皆歩いて行っただよ、と驚くばかりです。

邦ちゃんは「横尾からおちやんのリヤカーに乗って上田まで行ったことがあるよ」と、みんなそんな感じで上田まで行っただね。

又電車の話に戻りますが、盆や正月等帰省する時、帰る時いつも母やおばあちゃんが迎えて石舟まで来てくれましたが、行きは良いよい、帰りはつらいもんです。おばあちゃんはいつも最後に、またいつ会えるか、元気で会えるか、と泣いているのを見るととてもつらかったです。母は石舟の駅で本原の方向に向かつていつ迄も手を振っている姿が思い出されます。

さあ、気を取り直して学校の思い出話と致しましょう。真田中学校には分校みたいで、農業体験のために今は菅平ダムの底になってしまった大洞という処に確か二階建がなく、円形がなく、そのところまで皆んなで歩いて行き、一泊したと思いますが、昼間は大豆の収穫、男子はいつの間にか（小さな沢水が流れていたのですが）確か上流に行ったのか「いわな」かな、魚を取ってきました。それは夜先生達の酒のつまみ、きのこ等もつまみにしていました。いい時

代でした。

また菅平根子岳やほかの山への登山では、それぞれ長村中学から歩いて菅平迄行くとの事、私は友達二、三人と菅平口あたりでキャベツや白菜等を町に運ぶ空のトラックに頼んで荷台にかくれて乗せてもらい菅平手前で降りて、先生に見つからないように、なにくわぬ顔して行っただけでも、多分先生は知っていました。

クラス会のとき、そんな話が出て井出先生に、正江今でこそ云うが、菅平に行った時トラックに乗って来ただろう、と云われ笑いでごまかしました。いい思い出です。

いつ迄も話をしているので、山口会長や鈴木事務局長が議事進行ですよと、でも何か関連事項があると、また真田の思い出がよみがえり脱線する事しばしば。議事進行妨げてすみません。また元気で次の理事会で会いましょう。

真田町の皆さん、真田丸の放映は終わりましたね、短い一年だったね。上田市でも色んなイベントをしたようですが、真田町はどうだった？

私たち、真田町の会はいつも自分たちの育った真田町のこと思っていますよ。元気で過ごしてください。

追伸、一之瀬さんから本原駅の昔の写真を見せてもらいました。

とてもなつかしいです。

長年の本金刺繍を

六文銭に託して

佐藤 昌江（萩出身）



昨年東京真田町の会の懇親会に出席させて頂きました折に、NHK「大河ドラマ」に真田幸村を主人公にした「真田丸」の放映が決定したと聞きました。会場の皆様と拍手喝采して喜び合いました。又十一月に和歌山県の九度山町へバス旅行で行くことが出来ました。その折、幸村が暮した十四年間の生き様を見聞きして、町内の人々の幸村に対する心の暖かさを感じながら町中を語り合いながら歩きました。その後上田市に行く事があり、車窓より見る町の風景が何か華やかに感じ店先の風にたなびく六文銭の旗、色とりどりの大小の六文銭の紋様が町中に張られている、真田町に入ると更に六文銭

《広告欄》

株式会社 千曲美装

代表取締役 宮下 毅

〒386-0015 長野県上田市常入 1-7-104

Tel 0268-23-7896 Fax 0268-23-7813

e-mail t_miyashita@chikumabiso.co.jp



悩む前に
相談して
良かったわ!!

アパート、マンションから
一般住宅までリフォーム・
メンテナンスの全てをお引き
受けいたします。
お気軽にお声かけ願います。

が目に入ってきた、「ふと思い」な
んとなく私も六文銭を刺繍してみ
たくなりました。果たしてどんな
六文銭ができるのか少し気になり
ながら図案を書いてみました。

日本刺繍はあまり人様の目には
馴染みは薄いと思いますが、着
物・帯・ハンドバッグ・家紋・絵
画などに刺します。最近では、着物
を着る方が少なくなりましたので、
刺繍をする方も少なくなりました。
この六文銭の図案を輪郭にそって
切りぬき、刺繍台に布を張り両側
を台にかがり付けます。台に張つ
た布に切り取った紋様を縫い付け
ます。その紋様の外側の輪郭にそ
っておよそ5mm間隔で、朱絹糸
を台の裏から表へと、交互に針で
通して太目の金糸を、留めて行き
ます。一ツの紋様を刺す時間は約
二日から二日半ほどかかりました。
年令と共に手
が遅くなり完
璧な仕上げは
出来ませんで
したが、心をこ
めて刺し縫い
しました。



金糸
朱絹糸

何かついでの折（上田市に行か
れたときにでも）気が付きました
ら見て頂ければと思っております。
なお、作品は真田町の会の総会
の際にお贈りした一架と、後日完成
した一架です。これらの二架を快

くお受け頂き、市長様から感謝状
を頂き恐縮しております。

上田市長様、そして真田地域自
治センター長様には大変お手数を
お掛け致しました事を申し訳なく
思っておりますと共に、御礼を申
し上げます。

また、真田地域自治センターの
西沢様や伊藤様には、お世話にな
りました。ありがとうございます。
作品の表題とこれが展示され
ている施設は次の二か所です。

一・表題

日本刺繍本金使用の六文銭
二・展示場所は次の二か所

- (1) 上田市文化センター、上田文
化会館ホールのエントランス
（上田市材木町一の二の三）
- (2) ゆきむら夢工房（上田市真田
町長六〇九〇番地一）

上田市の

学園都市構想

理事 深町 共榮

（旧姓・山岸、田中出身）

日本ダボスN.O.7に「故郷の
発展を願って」の一文にて、今か
ら40年前に共同研究で幾度か訪
れたスタンフォード大学を例に学
園都市について述べさせていた
いた。

私立埼玉工業大学（深谷市）を
定年退職して4年余り経ったこの
ごろは、20年前に傍陽曲尾に設
けたセカンドハウスで過ごす日が
多くなり、時々、関東に出かけて
用事を済ませている。このため、
上田市との関わりが増え、昨夏、
現在上田市観光大使を務めている
前西東京市長の坂口光治氏から、
私立長野大学が公立大学法人制度
を適用し上田市に移管する計画に
意見を求められた折、「私学のうち
に大学改革を進め、公立化にふさ
わしい体制を整えてから移管すべ
き」と述べたことから、この春、
長野大学から改革検討委員会委員
の委嘱を受けた。



大学進学率の全国平均は52%
程度であるが、長野県のそれは
8%下回り、進学率をA, B, C
と分けるならば、長野県はCラン
クである。子供の頃、長野県は教
育県と呼ばれていたが、今、その
面影はない。また、県内の大学へ
の進学率は約15%で、残り8
5%が県外となる。県外となると

《広告欄》

ゆっくり湯治してほしい温泉宿。かけ流しの温泉でココロも身体もほかほか。
心を込めた手作り料理も宿の自慢です。
無料送迎バスで、皆様のすてきな旅をお手伝いします。

信州鹿教湯温泉 水車のまわる宿

TEL 0268-44-2236

〒386-0323 長野県上田市鹿教湯温泉 1422

ろく めい そう
鹿鳴荘

学費に加え生活費を送る親の負担は重く、その上、多額の資金が県外に流失する。

長野大学公立化は、地方創生の目玉の一つともなり、この夏の市議会でも認められ、来年4月から上田市に移管される。長野大学は旧塩田町が7千万円を出資し、また、10万坪の用地を提供し、地方自治体全額出資による全国でも先駆的な「公設民営」方式の私立大学として、昭和41年に本州大学の名称で開学した。現在の長野大学は、社会福祉学部、環境ツーリズム学部、企業情報学部の3学部からなる入学定員300名の文系大学である。長野大学は、日経新聞社による「地域貢献度」調査では、私立大学部門で全国1位、また、社会福祉士資格試験の合格率も全国で1位である。現在、小規模の私大の大半は、入学者の定員割れをおこなっているが、長野大学では、教職員の努力により最近定員を確保している。しかしながら、上田市民からは、偏差値などから評価は芳しくなく、公立化により上田市の財政が圧迫されるのではないかと、との懸念も示されている。

改革検討委員会では、大学の教育研究水準を一段と高めるため、大学院を創設し、従来の文系の学部を社会福祉学部と地域創造学部の2学部（入学定員300名）に

改組し、さらに、地元企業の声に応えられるよう理工系学部（入学定員80名）を新設する案を提案した。この案に沿って大学改革が進められるならば、長野大学は地元市民に理解され、評価される大学になりうるものと思われる。

公立化により、学費は国立大学法人大学並みとなり、学生にとっては経費の負担が軽減され、優秀な学生が集められる。また、大学院の創設により、教員の研究業績が一段と高まり、高度な専門的知識を修得した学生達を地元へ供給できる。

上田市には、長野大学に加え、信州大学繊維学部、上田女子短期大学、長野県工科短期大学校等の高等教育機関があり、さらに、新潟薬科大学の薬学部（6年制）が開設される予定である。これら高等教育機関を生かした学園都市構想を上田市は打ち出し、若者の集まる町づくりで地方創生に役立てようとしている。この上田市の試みと共に長野県に優秀な大学が増え、何時しか教育県と呼ばれる日が来ることを願って止まない。

（注1・大正デモクラシーの中、上田地方では、農村青年が金を持ち寄り、著名な学者を招いて上田自由大学を開講し、勉学をした。この自由大学運動はその後全国的に展開された。旧塩田町がこの自

由大学の流れを汲み、こんにちの大学創設に至ったと言われている。
注2・日本ダボスのバックナンバ―は、東京真田町の会のHP上で閲覧できる）

「チビおかみの挨拶 になごみました」

理事 武捨 衛人

（中組出身）



今年のふるさと訪問旅行は宿泊ホテル差し向きの『鹿鳴バス』に揺られて、大宮く岩櫃城址くゆきむら夢工房く鹿教湯（宿泊）くサントミューゼく上田城址（大河ドラマ館）く真田氏歴史館と現在放映中の大河ドラマ『真田丸』ゆかりの場所をめぐる旅でした。

参加者は常連から何人か欠けて一七人と少し寂しくなりましたが、馴染みの鹿鳴荘では小学生に成長した『チビおかみ』と一歳半の『チビチビおかみ』の歓迎の挨拶と踊

《広告欄》

貿易物流研究所所長
東京真田町の会

顧問 小林 孝 雄

（曲尾出身）

〒234-0051 神奈川県横浜市港南区日野 4-45-5

☎ 045-349-2084

東京真田町の会

顧問 三井 芳 郎

〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽 11510

☎ 0268-73-2616

りにバスの疲れも忘れてなごみました。嬌恋街道は大河ドラマの影響が車が多くスムーズに走れませんでした。晩秋の山々の景色は見事で、また、岩櫃城址の岩壁の景観は印象に残りました。馴染みの浅間酒造会館の昼食はおいしく、特にお米のご飯が美味でした。

鳥居峠を越えて大河ドラマ『真田丸』放映の影響で大賑わいの『ゆきむら夢工房』へ、ここには佐藤昌江さんの見事な『六文銭の金文字刺繍』が飾られていました。また駐車場周辺の灯台躰（どうだんつつじ）とサルビアの深紅の花は表現の仕様もない見事さでした。ここ数年、花の色が鮮やかさを増していますが、空気が清浄なふるさとでこの傾向が特に著しく感じられ、感激しています。バスは上田市上塩尻一八号と一四三号と六五号を経由して平井寺トンネルを抜け荻窪に出て晩秋の鹿教湯温泉に到着、日曜日の鹿鳴荘は借り切り状態で九時過ぎまで上手下手交じりのカラオケ宴会を楽しむ事が出来ました。

寝具のかけ布団が薄くあまりにも軽い一枚だけで毛布もなく寒さが気になりましたが、実際は非常に暖かくびっくりしました。最新式のものだと思い、インターネットで探すことにしました。老人病？の腰痛対策に『寝返り回数

増』がキメ手の由なので・・・。

翌日は九時にお世話になった鹿鳴荘を出発しサントミューゼへ、専売公社跡地を利用した広大な施設で上田市の誇るイベント会場になっています。ここでは原田泰治の『ふるさと詩情』の大規模な展示があり、わがふるさと『傍陽』大庭の風景を見ることが出来ました。上田城址公園に新設された真田丸人気に沸く大河ドラマ館を経てふるさと真田町の真田氏歴史館へ、真田氏歴史館は入場者倍増で、入場料収入予算が一千万円から二千万円に補正された由・・・。

昼食会場の真田庵では真田地域自治センター長岩倉様の歓迎のご挨拶を頂き、また全員にお土産の茸、各一箱を頂戴しました。いつものお心使い本当に有り難うございます。真田庵の昼食は名物のくるみとゴマのおはぎで大変美味でした。

十一月六日と七日にかけて、真田丸放映で来場者倍増に沸く関連施設を訪れた今年のふるさと訪問旅行は、最後に本原の大松リンゴ園でシナノスイーツなどのお土産を買い足してから帰路につき、無事に終了となりました。

上田地域では真田地域自治センター地域振興課の伊藤様に各イベント施設の入場券の調達から会場のご案内まで大変お世話様になりました。いつも本当に有り難うご

ざいます。また、二日間に亘りバスでお世話頂きました鹿鳴荘の石田様大変有難うございました。最後に担当理事としてお世話頂いた金子様本当にご苦労様でした。

蛇足ですがバス路線の変更をお願いしたいと思います。高速利用を川越インター経由にして渋滞する東松山川越の一時間一・五時間を十五分程度に切り替えたいのです。エコノミー症候群の老人に渋滞は苦痛ですので、よろしくご検討ください。以上

会員の皆様の

近況報告抜粋

(敬称略・出身区・旧姓)

一 青木 進(横尾)

病氣療養中の為、皆様によりしくお伝えください。

二 荒木廣之(下原)

会長をはじめ執行部の皆様、誠に苦勞様です。ご一同のご健勝とご多幸をお祈念申し上げます！当方は変わりありません！

三 飯嶋啓治(萩・千曲市在住)

皆様によりしく。

四 石巻哲夫(曲尾)

申し訳ありません。よろしくお願ひします。

五 一之瀬和夫(大日向)

皆様のお知り合いや親戚で関東圏にお住まいの方がおいででしたら、本会をご紹介下さるようお願いいたします。これまで理事武捨衛人様が編集していた会誌「日本ダボス」と「しらかば通信」を次の年度から私が行うことになりました。「新会員の声」欄では、多くの皆様からのご寄稿を待つております。

六 井出道子(大畑・南条)

いつもありがとうございます。出席できず大変申し訳ありません。楽しい会になりますようお祈り申し上げます。

七 井上かつ代(田中・堀内)

お世話になります。都合上行けなくなりました。御免なさい。良き会であり、皆様のご健康をお祈りしています。

八 岩井泰子(中原・荻原)

美しい新緑の季節となりました。役員の皆様いつもありがとうございます。五月二一日と二二日と丁度重なってしまつて「いとこ会」がありまして、そちらに出席の予定で、欠席させていただきます。多くの方々の御出席と盛会であります様にと願っております。

九 岩崎 弘(中原)

先約があり欠席しますが、ご盛會をお祈りします。

一〇 岩崎みち子(菅平・正木)

いつもありがとうございます。

眞田丸樂しみにみえています。

一一 内海宏光(大庭在住)

ジャガイモ二種類と千本ねぎを株分けして植え替え、ジネン芋も植えました。春の野菜も各種を蒔きました。今日、春祭りの簾が近所のお宮にはためきました。上田公園の桜は一週間前に満開になったのですが、傍陽近辺の山は未だに茶色です。小学校の桜は蕾です。

一二 大久保あき子(菅平・川上)
皆さんに逢うのを楽しみにしています。

一三 大橋けさ子(菅平・山本)

役員の皆様いつもありがとうございます。今年もお世話になります。アトラクション楽しみにして居ります。

一四 荻原啓治(四日市)

健康第一。毎日仕事に励んでます。

一五 荻原淑子(穴沢)

傍陽で暮らしたのは中二から高三までの数年間にすぎません。けれども、地域でも学校でも皆さんに支えられて、敗戦後の厳しい時期でしたが楽しい思い出もたくさんあります。それがいま、そこに住み続ける同級生に「農協も無くなり小学校も無くなりそうだ。もう限界集落だよ」などと言われて返す言葉ありません。傍陽が生き生きして欲しいと願っています。

一六 加賀見晶子(横沢・山本)

御苦労さまです。

一七 金子 誠(田中)

多忙な日々を過ごしております。今回のアトラクションは「ああ・上田城」ほか、クラウン専属歌手の浅倉みよ子さん(埼玉県北本市観光大使)が情熱をこめて歌います。楽しみにしててください。

一八 神林 森(竹室)

横浜市へ転居しました。よろしくお願いします。

一九 久保新一(角間・軽井沢町在住)

昨年六月に北佐久郡へ転居いたしました。耕作放棄地を借りて野菜作りに励んでいます。

二〇 小林重利(入軽井沢)

手術から三年を経過しましたが、大過なく生活しております。総会のご盛会をお祈りいたします。

二一 小林正子(下横道・堀内)

役員の皆様いつもお世話になり有難うございます。「眞田丸」に関してエピソードなど聞かせていただけるかと楽しみにしております。

二二 斎藤美枝子(菅平・今井)

体力的に無理ですので欠席させていただきます。会費去年の分と二回分振込みます。

二三 坂口英一(眞田)

毎回の欠席で申し訳ありません。

二四 坂口典和(眞田)

昨年の七〇歳を境にして社内ではシェアフロントマネジャー(マン

ション代行管理員)に晴れて昇進し、都内を中心に、冬は寒さに震へ夏は暑さに汗を流しています。

二五 桜井和子(下横道・中沢)

元気です。昨年は九度山へ行かれて良かったです。お世話になりました。

二六 笹沢ケサム(横沢・久保)

しらかば通信ありがとうございます。役員幹事の皆様には何かとお忙しい中ご苦労さまです。用事が重なり出席できませんが、東京眞田町の会が益々精進される事を祈念いたします。

二七 佐藤宏次(田中)

毎日元気に動き回っております。次機会には参加出来ると思いますので、それまでずっと動き回り続けます。総会の盛会をお祈り申し上げます。

二八 佐藤昌江(萩・柳沢)

今回も又お世話になります。どうぞよろしくお願い致します。楽しみにしております。

二九 椎名巳津男(横沢・山口)

今年の話題はもっぱらNHK「眞田丸」の放映です。序盤は地の画面に懐かしく拝見しております。ご近所に事前に宣伝したので、通りすがりの人達が眞田出身ですかと声をかけられます。非常に好評です。毎週が楽しみです。いつも会員様はじめ役員の皆様方の御苦労に感謝申し上げます。

三〇 塩沢英巳(大日向)

いつも眞田町の会のご案内を頂き感謝申し上げます。今回、意思表示が遅くなり、申し訳ありませんが出席したいと存じます。以前に二回出席しておりますが、席等に余裕がありましたらお願いいたします。最近、「日本国の真ん中」の故郷「信濃(眞田町)」の素晴らしさを再認識しております。

三一 柴田小夜子(菅平・市村)

毎年、皆様にお会い出来る事を楽しみにしております。

三二 清水貞夫(菅平)

現役で働いております。五月には同級会で菅平に行きます。

三三 清水民子(曲尾・上原)

東京眞田町の会第二九回おめでとうございます。昨年八十路(ヤソジ)に入りました。腰が痛い足が痛いとしながら早くも一年が経ちます。この七月で八一歳、口ぐせの様でもう少し元気です。四月三〇日に主人の七回忌も済ませることが出来うれしく思っています。皆様にお会いできる日を楽しみに出席させていただきます。よろしく願います。

三四 清水征夫(中原)

「日本ダボス」楽しく読ませて頂いています。七十七歳、「四国八十八歩き遍路」三回目挑戦中です。

三五 杉崎壽三男(菅平)

皆様とお会いできることを楽しんで

みにしています。

三六 杉村房枝(萩・落合)

いつもお世話になりました、誠にありがとうございます。「真田丸」を毎週楽しみに拝観して居ります。

三七 鈴木邦子(横尾)

毎年！今年はどなたとお会い出来るかな？と楽しみにしております。理事が手薄の為なかなかお話しする機会がありませんでしたが、今年は沢山の方とお話しをしたいと考えております。

三八 鈴木郁夫(横尾)

私の制作してきましたオートマタ(ヨーロッパからくり人形)全二〇点を昨年以上田市に寄贈させていただきました。

三九 鈴木民子(竹室・高寺)

いつもお世話になって居ります。日曜日は都合が悪い事が多いのですが何とか都合がきましたので出席させていただきます。真田丸を毎週楽しみにして居ります。

真田丸以外にも真田家に関する番組が放送されましたがいつも見て居りました。お世話になります、よろしく願い致します。

四〇 滝沢けさ子(赤井・若林)

色々忙しい毎日です。

四一 武田守央(真田)

下手なゴルフとゲートボールで毎日楽しく過ごしております。人生は後半がおもしろいとか、いつ

ぱい楽しみ長生きして・・・。

四二 館野清實(田中・堀内)

今回の旅行・九度山にも参加でき、いま真田丸の放送をしっかりと見えています。旅行の時は皆様ありがとうございます。

四三 田中恒夫(横尾・上田市在住)

皆さまご苦勞様です。感謝して居ります。お陰様で元気にしています。皆々様によりしくお伝えください。

四四 塚田加代子(横尾・宮崎)

「しらかば通信」ありがとうございます。真田傍陽線の写真を懐かしく拝見しました。高校まで乗ったなつかしい電車です。

四五 塚田 靖(菅平)

山家神社や長谷寺をはじめ、砥石城、米山城、榊形城ほかを二日かけて見てきました。とても大変でした。(特に砥石城は・・・)

四六 所けさ子(中横道・堀内)

頂いた「しらかば通信の囲みの中」の電車は昭和四四年に廃線になってしまった「上田丸子電鉄北東線」でした。通学だけでも、上田へ四年、長野へ三年運んでもらいました。懐かしさいっぱいです。

また、真田丸が放映されるや、こちらでも長野市桐原の実家に「真田家」の供養塔があるという人がでてきたり、飯山の本多のお殿さまがいたり。私まで上田城について

海野(うんの)小太郎(真田家の系図による)ことなど書くことになりました。遠出は全く駄目になってしまいました。ゴミ出しはしっかりやっております。

四七 中島正江(戸沢・中沢)

五月二二日浅草公会堂にて踊りの発表会があり、二時過ぎにはアルカディアを出なければなりません。総会と懇親会で一時間位出席します。食事はしませんのでお料理のほうを欠席にしてください。

四八 中沢欣勇(下横道)

日頃の役員の皆様方には大変お世話になり誠にありがとうございます。御礼申し上げます。会員の皆様の御元気の様子を拝見できる事を喜ばしく存じます。本年も賑やかにて盛会になれますように！年も早いもので期待通りの真田丸、益々盛況で楽しんで居ります。

四九 中村洋子(田中・木下)

役員の皆様いつも有りがとう御座います。お陰様で皆様にお会いできます。私も、年々あちこちの調子が悪くなっているようですが、会えることを楽しみに行きますので・・・宜しく願いします。

五〇 鳴沢 隆(萩)

恐縮ながら当日十三時十五分ごろ中座させていただきます。私のゴルフクラブの理事会がこの日に開かれますが、立場上欠席が難しいためです。山口会長をはじめご

尽力いただいている皆様にご挨拶だけでも申し上げたいと存じます。友人仲間の間で「真田丸」が好評なのが、最近の喜びです。

五一 野村勝太郎(大日向)

尺八の先生で坂内光也さんと出席します。

五二 橋詰吉万雄(中組)

役員の皆様いつもお世話様です。毎回ふるさとを同じくする人達との交流、そして情報など知る事が出来、楽しみにしております。残念ながら同級生の参加が年々少なくなる事が不安ですが、会が増々発展して行くのが楽しみです。

五三 半田喜章(中横道)

三年ほど日程が合わず失礼しました。

五四 平田金子(岡保・橋詰)

昨年の親睦旅行(九度山)には大変お世話様になりました。とても楽しい旅行でした。ありがとうございます。五月二二日は皆様とお会いできるのが楽しみです。よろしく願いします。乱筆にて失礼致します。

五五 深町共榮(田中・山岸・傍陽在住)

しらかば通信のバックナンバーをHP上で閲覧できるようにしました。御覧願います。

五六 堀内 幸(下横道)

平穩無事に暮らしております。総会にはやゝ早めに行き、お手伝

いさせてもらいます。時間がありませんでしたら演歌「周布灘恋唄」鳥羽一郎を希望します。

五七 堀内照美(上横道)

当日は出勤になり、残念ですが欠席させていただきます。ご盛会をお祈り申し上げます。先日、田舎の兄より恒例！の山菜が届き、天ぷらやおひたしにし、近所の叔父宅や義父宅にもお裾分けし、田舎を感じながら食しました。

五八 堀内敏文(下横道)

旅行と重なるため欠席します。連絡ありがとうございました。

五九 堀内寅次(中横道)

いつもご連絡を頂きありがとうございます。八五歳となりますが元気でやっておりますので、ありがたく思っております。足が弱っております外出は困難ですので、欠席させていただきます。ご盛会を心よりお祈り申し上げます。皆様によりしくお伝えください。

六〇 堀内寿美(上横道)

先日はわざわざお電話をいただきました。誠にありがとうございます。

六一 堀内 福(下横道)

元気です！役員の皆様ご苦勞様です。

六二 堀内保芳(三島平)

(近況記述はありません)

六三 牧内 操(萩)

いつの間にか八六歳になって、

未だ元気です。ゴルフもたまにやっています。それでも皆さんと一緒にやるのは無理でマイペースが良い。もうなんでもマイペースでやっています。よろしく。

六四 牧内泰男(萩)

妻と二人で出席します。お願いします。

六五 丸山廣義(曲尾)

所要のため欠席させていただきます。ご盛会と皆様のご健康をお祈りいたします。

六六 三井芳郎(大庭在住)

長野の大自然の中で毎日野山を散歩し元氣良く暮らして居ります。皆さん、たまにはお出かけ下さい。お待ちしております。皆々様に暮々もよろしくお伝えください。

六七 宮本 優(大日向)

役員の皆様、いつもお世話さまです。旅行直後で、体調不安なので欠席させていただきます。

六八 森本幹生(入軽井沢)

御連絡有りがとう御座居ます。何とか「真田丸」の人氣を具現化した様な産業が出現し、豊かな真田を夢みて作品制作しています。

皆様の健康と盛会である事を祈念しています。敬具 (年会費と広告代金をお送りします。昨年と同じ内容とサイズでお願いします)

六九 八木五郎(中横道)

結婚式と重なってゴメンなさい。半年前に九度山行きで一緒だった

同輩の飯島啓三君が三月六日に逝去。寂しいかぎりです。役員さま御苦勞様です。

七〇 柳沢郁政(戸沢)

昨年、九度山町訪問に参加しました。懇親会で岡本町長さんに昌幸らと地元の様子を尋ねたところ、町史三冊セットを進呈くださいました。非常にありがたく読み、私の調べは済みしたので真田町へ再進呈しました。

七一 柳沢喜三郎(萩)

盛会をお祈り申し上げます。相変わらず杖を頼りの生活であり出席できないことを残念に思っております。

七二 柳沢俊美(戸沢)

東京真田町の会、案内状を送って下さりありがとうございます。今回は都合が悪く欠席します。

七三 柳沢 實(萩)

お元気ですか。何時もお世話様です。当日は何かとお世話になります。何卒よろしくお祈りします。

七四 柳橋米子(下横道・内川)

いつもお世話様になっております。感謝致しております。体調がよくないので出席できずに残念です。皆様によりしくお祈りします。

七五 山浦教代(下塚・山浦)

御盛会お祈りいたします。応援致しております。

七六 山本道子(大庭・成澤)

毎年、会報を楽しみにしております。

ます。末永く東京真田町の会が続くことを切に願っております。

七七 吉川栄子(中組・武捨)

元氣に暮しております。

七八 若林正春(大洞)

誠に残念ですが体調が悪いため欠席します。皆様によりしくお伝えください。

七九 和田美木子(大畑・荒井)

遅くなりました。宜しくお祈り致します。

誇れる上田市

そして真田町

事務局長 鈴木 邦子

(横尾出身)



過日、上田市政策企画部の方が、東京で「移住促進キャンペーン」を開催して下さり、参加させていただきました。

真田町が、上田市となつてはや十年になります。近頃よく耳にすることですが至る所に空き家が多

くなり何処でもその対策に苦慮されているとの事です。私たちの故郷も県や市が総力をあげさまたまなイベントを行ったり、職場・子育て・医療など充実した「住みよいまちうえだ」をキヤッチフレーズに既に移住されている方たちのライフスタイル等を紹介したり、移住促進の為に熱心に活動されておりました。

移住されている皆様が、住み良さと、人々の温かさに触れることが出来満足されている様子を伺い知る事も出来嬉しくなりました。

興味をお持ちの方は左記へどうぞ。親切にご説明頂けると幸いです。(上田市役所内「政策企画部シタイプロモーション推進部」電話0268210061)

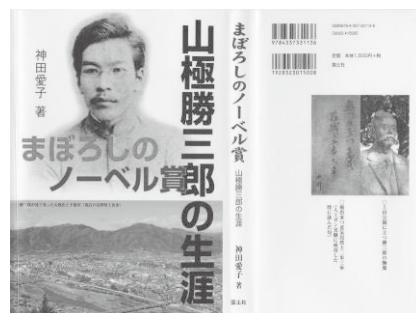
「真田丸」の効果が大きく近頃ではテレビ等で各局でも真田幸村の放送が多くなりました。また上田市が映画等ロケ地として起用される事も多くなり、見慣れたところが出来るとやはりうれしいです。ふるさとが若さあふれ活気のある街に成る事をねがっております。

上田が生み世界が見遇

した人工癌研究の先駆者

(一) 図書 ―図書とシネマ―

- (1) 書名「まぼろしのノーベル賞―山極勝三郎の生涯―」
- (2) 著者 神田愛子
- (3) 出版社と価格(株)国土社、第二版2014年4月(全175ページ)、定価本体1500円。



遠景は太郎山, 右は博士の胸像

人口癌生成の先駆的研究で、世界に名を知られている山極勝三郎博士(一八六三―一九三〇)の研究成果と生涯を紹介しています。

漢字の多く、たとえば「信州上田」などにはルビ(ふりがな)が振られていることから、筆者は読者層を小学校低学年にしていることがわかります。このような偉人が生まれ、育った郷土は私たちの誇り、子供たちにぜひこの事実を伝えたい、との著者の願いのあらわれでしょう。著者は上田市生まれで同市在住、信大教育学部卒。

(二) 劇場映画

上田を舞台にした劇場映画「う

さぎ追いし山極勝三郎物語」主演遠藤憲一、水野美紀ほか」のロケ地は別所温泉北向観音、その時期は二〇一六年三月であった。封切りは十一月五日(土) TOHOシネマズ上田、長野グランドシネマズほか先行公開。十二月十七日(土) より有楽町スバル座ほか全国ロードショー。



上田城址公園内の上田市立博物館脇にある山極博士胸像



山手樹2015oct10

- (1) 郷土の人物(昭和55年3月450円)
- (2) 山極勝三郎博士の生涯と業績―癌出来つ意気昂然と二歩三歩―(平成19年3月、800円)。
- (3) 問合せは上田市立博物館窓0268(22)1274(編集子)

《広告欄》

祝 新生上田市 10 周年

東京真田町の会

顧問 塩 沢 和 政

(大日向出身)

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田 1074-37

☎ 047-450-3348



平成27年度決算報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日

収入の部			支出の部		
科 目	予 算	決 算	科 目	予 算	決 算
通常年会費	200,000	169,680	総会懇親会費	500,000	386,647
総会懇親会費	400,000	411,000	会報発行費	450,000	360,872
上田市補助金	300,000	300,000	事業費	150,000	70,000
広 告	250,000	209,930	事務通信費	70,000	77,681
寄付金等	50,000	29,000	印刷費	30,000	8,670
利息等雑収入	30	34	会議費	95,000	86,338
			渉外費	60,000	70,000
			交通費	60,000	28,200
			雑費・手数料	60,000	41,179
			予備費	165,772	0
当期収入合計	1,200,030	1,119,644	当期支出合計	1,640,772	1,129,587
前年度繰越金	440,742	440,742	次期繰越額		430,799
合 計	1,640,772	1,560,386	合 計	1,640,772	1,560,386

上記のとおり収支決算を報告いたします。平成28年3月31日 会計 金子 誠 ㊞
 上記の決算報告書は適正かつ真実であるものと認めます。 監事 深町 共榮 ㊞
 監事 荻原 啓治 ㊞

平成28年度事業計画

- ① 第29回総会および懇親会の開催 (平成28年5月22日(日))
- ② 会報「日本ダボス」第29号の発行
- ③ 広報誌「しらかば通信」第20号の発行
- ④ ホームページの運営
- ⑤ 会員旅行会・ゴルフ会・マレットゴルフ
- ⑥ 会等、会員相互の親睦を図る行事の実施
- ⑦ 上田市との交流促進のため、ふるさと訪問、ふるさと特産品の宅配協力、各種文化交流、およびスポーツ行事等の実施と参加
- ⑧ そのほか

平成28年度収支予算

平成28年4月1日から平成29年3月31日

東京真田町の会役員名簿

平成28年12月1日現在

収入の部		支出の部		職 名	氏 名
科 目	金 額	科 目	金 額	会 長	山口元彦
通常年会費	270,000	総会懇親会費	550,000	副会長	金子 誠
総会懇親会費	420,000	会報発行費	450,000		柴田小夜子
上田市補助金	300,000	事業費	150,000	理 事	堀内寿美
広 告	210,000	事務通信費	95,000		監 事
寄付金等	20,000	印刷費	30,000		萩原啓治
利息等雑収入	20	会議費	100,000		深町共榮
前年度繰越金	430,799	渉外費	90,000		事務局長
		交通費	80,000		鈴木邦子
		雑費・手数料	60,000		会計理事
		予備費	45,819		金子 誠
収入合計	1,650,819	支出合計	1,650,819	顧問	一之瀬和夫
					武捨衛人
					堀内 政
					神田幸雄
					坂口典和
					小林孝雄
					三井芳郎
					清水清晴
					塩沢和政
					中島正江

～ 会 員 消 息 ～ (平成 27 年 11 月～平成 28 年 10 月、敬称略)

＜ 住 所 変 更 ＞

神林 森	〒222-0001	神奈川県横浜市港北区樽町 4-12-22	フルール大倉山 201 (竹室)
久保 新一	〒389-0111	長野県北佐久郡軽井沢町長倉 1261-1	(横沢)
長田ムネ子	〒113-0021	東京都文京区本駒込 5-21-5-601	(真田)
山浦 教代	〒336-0015	埼玉県さいたま市南区大田窪 2244-97	(下塚)

＜ 退 会 ＞

長い間、本会の運営にご協力くださりありがとうございました。くれぐれも健康にご留意ください。

秋葉 昭雄	大久保治夫	笠原せつ子	北澤 りん	小池 京子	小林 公江
久野けさ志	真柴 邦子	松井志づ江	山岸とみ江	横沢 武久	渡辺 規

＜ 逝 去 ＞ 会員一同、心よりご冥福をお祈りいたします。

飯島 啓三	上原 佳和	宮寄十人重	宮本四方子
-------	-------	-------	-------

次回総会の予告

平成 29 年度の第三〇回総会・懇親会は 5 月 14 日(日)、アルカディア市ヶ谷(私学会館)で開催の予定です。大勢の会員の皆様にご出席いただけますよう、お待ち申し上げております。

詳しくは、4 月発行のしらかば通信 21 号でお知らせします。

年会費払込には専用の払込票によって郵便局でお払込下さい

当会の年会費は、平成 27 年度までは一千円、平成 28 年度からは一千五百円となりました。したがって、①過年度分を未納の方で本紙へ同封した郵便局払込用紙でお支払いされる場合は、年度と金額を必ずご記入下さるようお願いいたします。また、②平成 29 年度の年会費一千五百円を払込みされるときも、春にお送りする「しらかば通信」に同封する払込用紙をご利用下さるようお願いいたします。①、および②いずれの場合も払込取扱票に「通常払込料金加入者負担」と印刷してありますので払込料金は不要でございます。

広告御礼

日本ダボス第 29 号の発行にあたり、広告をお願い致しましたところ、多くの皆様からご協力を頂きました。ここに厚く御礼申し上げます。

新会員ご紹介のお願い

会員の皆様にはいつも会の運営にご協力頂き誠にありがとうございます。会員相互の出会いと親睦、そしてふるさと真田町との交流の親密化を目的に誕生した東京真田町の会(1988 年 9 月に設立)も、はや三〇年近い歴史を刻んでいます。これまで、先輩役員のご努力、会員の皆様のご協力、そして、旧真田町ならびに上田市のご支援により、今日を迎えることができたこと、ご同慶のいたりでございます。

本会がさらに充実し、発展し、新しい何かを探し続けるためには、まず会員数の増加が何にもまして重要であります。皆様の友人、知人で本会に推薦できる方がおいでしたら、会長または役員までご一報いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

日本ダボス第二十九号をお届けします。最初に、貴重な原稿をお寄せいただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。

本誌の一五号から昨年の二八号までと「しらかば通信」を二三年間にわたって編集されてきた理事武捨衛人様は、療養に専念されることになりました。

武捨衛人様の長きにわたるご尽力にたいして、会員の皆様とともに、理事一同ここに心から氏に感謝の意を申し上げる次第です。

かわって、本号からこの任を理事一之瀬和夫が受けることになりました。先達武捨様の指導を頂きつつ、活動の活性化に努力したいと考えております。よろしくお願いいたします。本会は設立後三〇年を迎えて、会員数の維持にも、これまでとは異なる対応や発想が求められるようになりました。

NHK の大河ドラマも幕が下りました。これまでの成果を、真田だけでなく広域的な持続的展開にまとめ、どのように生かしていけるか期待しています。

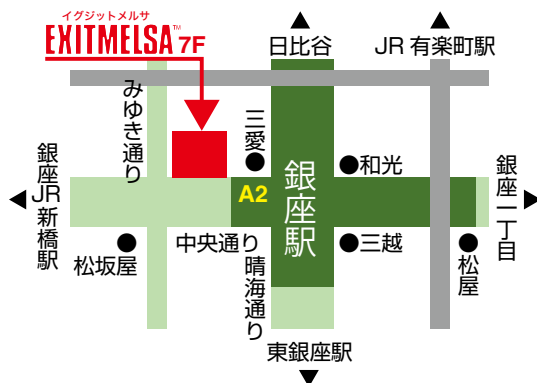
おわりに、本誌の発行にあたり、上田市および真田町の皆様からの暖かいご支援に深く御礼を申し上げます。

連絡先 山口元彦 〒184-0012 東京都小金井市中町 2-19-6 TEL・Fax 042-383-6555

祝 東京真田町の会

－ 会報 29 号 －

ロシア料理 渋谷ロゴスキー
ROGOVSKI
銀座本店



〒104-0061

イグジットメルサ

東京都中央区銀座5-7-10 EXITMELSA 7F

tel : 03-6274-6670

mail : rogovski@rogovski.co.jp

http://www.rogovski.co.jp/

Lunch 11:00-16:00 (15:00 LO.)

Dinner 17:00-22:30 (入店は21:30まで)

Take out 11:00-21:30

定休日/原則年中無休 (イグジットメルサの営業日に準じます)

東京メトロ銀座駅 (銀座線、丸ノ内線、日比谷線)

A2番出口より徒歩1分 (右斜め前方約70m)

くらしによろこび創りませんか
信州うえだ農業協同組合
代表 理事 組合長 坂下隆行

〒386-8668 長野県上田市大手2丁目7番10号 TEL0268-25-7800 FAX0268-25-7820

東京真田町の会

監事 深 町 共 榮

(田中出身)

〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町西 5-7-82

〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽 825-7

☎ 090-7225-6491

現代舞踊内海流

舞 踊 教 室

東京真田町の会 顧問

中 島 正 江

(内海鉄故望)

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見 3-22-18-103

☎ 03-6411-0703

日 本 ダ ボ ス 平成 28 年 12 月 24 日 発行

発 行 東京真田町の会 会長 山口元彦

〒184-0012 東京都小金井市中町 2-19-6, Tel. 03-5215-1511, Fax. 03-5215-1512

編 集 委 員 一之瀬和夫 武捨衛人 深町共榮

印 刷 上田市住吉：精巧堂 (株) アオヤギ印刷



奉 真田神社 納

竣工／平成28年7月16日



奉納神額
(堀内 政・謹書)



奉納銘板
(平成28年5月15日)



真田家・伝来甲冑
(真田不動産・所蔵)

設計・施工：IMC(株)、基礎工事他：(株) 図 南、奉納者：(株)真田不動産